

博士前期課程
シラバス

(平成29・30・31年度入学者用)

2019

日本大学大学院総合社会情報研究科

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学マインド

・日本の特質を理解し伝える力

日本文化に基づく日本人の気質、感性及び価値観を身につけ、その特質を自ら発信することができる。

・多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力

異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。

・社会に貢献する姿勢

社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

< 自ら学ぶ >

・豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。

・世界の現状を理解し、説明する力

世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。

< 自ら考える >

・論理的・批判的思考力

得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。

・問題発見・解決力

事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。

< 自ら道をひらく >

・挑戦力

あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。

・コミュニケーション力

他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。

・リーダーシップ・協働力

集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。

・省察力

謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

日本大学教育憲章ルーブリック

		初年領域： Basic		中上級領域： Intermediate and Advanced	
		1	2	3	4
自主創造	自ら学ぶ	A-1：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、倫理的な課題を理解し説明することができる。	経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の倫理観をもって、倫理的な課題に向き合うことができる。	経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。
		A-2：世界の現状を理解し、説明する力	世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状を概説できる。	世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を、複数の世界観に立って解釈し説明できる。	世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を総合的に理解し、国際社会が直面している問題の解決策を提案することができる。
	自ら考える	A-3：論理的・批判的思考力	仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報を基に、論理的・批判的に考察することの重要性を説明できる。	仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報を基に、論理的・批判的な考察を通じて、課題に対する見解を示すことができる。	仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的・批判的な考察を通じて、課題に対し、具体的かつ論理整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。
		A-4：問題発見・解決力	事象を注意深く観察して、解決すべき問題を認識できる。	問題の意味を理解し、助言を受けて複数の解決策を提示し説明できる。	問題を分析し、複数の解決策を提示した上で、問題を解決することができる。
	自ら道をひらく	A-5：挑戦力	新しいことに挑戦する気持ちを持つことができる。	責任と役割を担い、新しいことに挑戦することができる。	責任と役割を担い、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。
		A-6：コミュニケーション力	親しい人々とのコミュニケーションを通じて相互に意思を伝達することができる。	さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて相互の意思伝達を自由かつ確実に行い、他者との良好な関係を確立することができる。	さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。
		A-7：リーダーシップ・協働力	集団の活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重することができる。	集団の活動において、より良い成果を上げるために、指導者のもとで他者と協働し、作業を行うことができる。	集団の活動において、より良い成果を上げるために、他者と協働し、作業を行うとともに、指導者として他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
		A-8：省察力	自己の学修経験の振り返りを継続的に行うことができる。	自己の学修に関する経験と考えを振り返り、分析できる。	学修状況の自己分析に基づき評価を、今後の学修に活かすことができる。

一 目 次

国際情報専攻

必修科目

国際情報論特講	丸森 一寛	1
---------	-------	---

国際（関係）・政治コース

戦略情報論特講	乾 一字	3
戦略情報論特講	木原 淳	5
危機管理論特講	川中 敬一	7
組織倫理論特講	坂井スオミ	9
現代政治学特講	井手 康仁	11
国際法特講	安藤 貴世	13
国際政治論特講	庄司 貴由	15
国際協力論特講	池上 清子	17
国際関係論特講	草野 大希	19
行政論特講	関根二三夫	21
日本政治史論特講	瀧川 修吾	23
アフリカ開発論特講	未 開 講	
グローバルヘルス論特講	蓋 若琰	25
国際メディア論特講	近藤 大博	27
現代中国政治論特講	山本 忠士	29
日中比較社会論特講	高綱 博文	31
環境生態論特講	村井 英紀	33
市民社会論特講	池上 清子	35

経営・経済コース

経済理論特講	未 開 講	
国際経済政策論特講	前野 高章	37
近代日本社会変動論特講	小峰 和夫	39
グローバル経営戦略論特講	階戸 照雄	41
現代ファイナンス論特講	加藤 孝治	43
アカウンティング論特講	建宮 努	45
フィナンシャル・アカウンティング論特講	丸森 一寛	47
マネジメント・アカウンティング論特講	丸森 一寛	49
マーケティング論特講	嶋 正	51
人材マネジメント論特講	加藤 孝治	53
多国籍企業論特講	諸上 茂登	55
流通ビジネス論特講	小林二三夫	57
ビジネス法特講	中村 良	59
ファミリービジネス論特講	未 開 講	
ファミリーガバナンス論特講	階戸 照雄	61
事業創造論特講	中村裕一郎	63
事業承継論特講	曾根 秀一	65
中小企業論特講	小林 世治	67

専攻共通科目

調査分析特講	田中堅一郎	69
統計基礎Ⅰ	荒関 仁志	71
統計基礎Ⅱ	荒関 仁志	73
ゲーム理論	荒関 仁志	75

文化情報専攻

必修科目

文化情報論特講	保坂 敏子	77
---------	-------	----

文化研究コース

比較文学特講	秋草俊一郎	79
メディア文化論特講	堀江 秀史	81
翻訳論特講	井上 健	83
日本文化論特講Ⅰ	近藤 健史	85
日本文化論特講Ⅰ	野口 恵子	87
日本文化論特講Ⅰ	小田切文洋	89
日本文化論特講Ⅱ	長谷川正江	91
日本文化論特講Ⅱ	未 開 講	
日本文化論特講Ⅱ	山崎眞紀子	93
東アジア文化論特講	清水 享	95
中国語圏文化論特講	呉 川	97
ヨーロッパ言語圏文化論特講	秋草俊一郎	99
英語圏文化論特講	未 開 講	
英語圏文化論特講	秋草俊一郎	101
児童文学特講	猪野 恵也	103

言語教育研究コース

言語教育学特講	大川 英明	105
言語学特講	保坂 道雄	107
異文化間コミュニケーション論特講	西田 司	109
社会言語学特講	島田めぐみ	111
第二言語習得論特講	田嶋 倫雄	113
言語教育工学特講	保坂 敏子	115
言語教育デザイン論特講	豊田 哲也	117
日本語学特講	小野 正樹	119
日本語教育方法論特講	島田めぐみ	121
英語学特講	Clive Stuart Langham	123
英語教育方法論特講	太田 晴美	125

専攻共通科目

調査分析特講	田中堅一郎	127
統計基礎Ⅰ	荒関 仁志	129
統計基礎Ⅱ	荒関 仁志	131
ゲーム理論	荒関 仁志	133

人間科学専攻

必修科目

人間科学特講	田中堅一郎	135
--------	-------	-----

哲学コース

社会哲学特講	齋藤 宜之	137
哲学史特講	齋藤 宜之	139
宗教哲学特講	石浜 弘道	141
科学哲学特講	大熊 圭子	143
生命倫理学特講	橋本 和法	145
社会思想史特講	岡山 敬二	147

心理学コース

心理学史特講	荒川 歩	149
心理学研究法特講	眞邊 一近	151
認知心理学特講	山本 真菜	153
社会心理学特講	和田 万紀	155
産業・組織心理学特講	田中堅一郎	157
臨床心理学特講	菊島 勝也	159
医療心理学特講	飛田伊都子	161
行動分析学特講	小野 浩一	163
コミュニケーション心理学特講	眞邊 一近	165

教育学コース

生涯学習論特講	古賀 徹	167
学校教育学特講	北野 秋男	169
教育心理学特講	時田 学	171
教育臨床学特講	井上 雅彦	173
生徒指導論特講	柴山 英樹	175
教育評価論特講	藤田 主一	177

医療・安全学コース

健康科学特講	泉 龍太郎	179
安全学特講	荒関 仁志	181
人間工学特講	泉 龍太郎	183
環境生理学特講	泉 龍太郎	185

スポーツ科学コース

スポーツ運動学特講	小山 裕三	187
スポーツ医学特講	布袋屋 浩	189
スポーツ心理学特講	種ヶ嶋尚志	191
コーチング学特講	鈴木 典	193

専攻共通科目

調査分析特講	田中堅一郎	195
統計基礎Ⅰ	荒関 仁志	197
統計基礎Ⅱ	荒関 仁志	199
ゲーム理論	荒関 仁志	201

文 化 情 報 専 攻

(シ ラ バ ス)

シ ラ バ ス

シラバスには,教材の概要・参考図書・履修上のポイント・レポート課題が掲載されています。履修登録時に参照してください。

レポートの提出期限は,9月・1月(予定)となっています〔詳細は研究科報(ホームページ)にてお知らせします〕。

科目名	文化情報論特講	担当者	ホサカ トシコ 保坂 敏子	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	文化情報専攻での研究活動を行う際に必要なリテラシーの涵養を目的とする。具体的には、テキストを対象とする文化研究、言語と文化の教育・学習活動を対象とする言語教育研究の基盤となる文化観の様相の理解、ならびに、研究方法や研究倫理に関する基本的な知識や認識の獲得を目指す。本講義において2つのコースの領域横断的な資質・能力を学修し、特別研究において領域固有の資質・能力を身に付ける。 以上の目的を達成することにより、論理的・批判的思考能力をはじめ、倫理観、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、省察力を身に付けることを目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:3, A-2:3, A-3:3, A-4:3, A-5:3, A-6:3, A-7:3, A-8:3】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 文化情報分野において研究・論文作成をするのに必要な資質・能力を修得する。 【行動目標（SB0s）】 ・文化研究、および、言語教育研究の基盤となる文化観・文化の捉え方の様相について説明できる。 ・ある文化の捉え方について、別の文化観と比較できる。 ・「文化翻訳：文化の往還と変容」という文化観を理解し、具体的な事例が説明できる。 ・修士論文の作成に必要な先行研究・情報の収集方法や研究倫理、それぞれの分野の研究の進め方について理解し、自律的に論文作成に適用できる。 ・学術的な用語を正確に使い、剽窃を避けて注や引用などを適切に行うことができる。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio を利用して、インタラクティブな個別指導と受講者同士の協働学習を行う。 ・オープンエデュケーション教材（OER）や対面講義について、質疑応答やワークショップを行う。 【学修方略（LS）】 ＜通信授業（在宅学習）＞ ・前期は基本教材1の(1)を熟読、後期は基本教材1の(2)を視聴し、参考図書等を参照して、レポート課題1を作成する。（自習・自主研究・レポート作成） ・レポート作成後は、manaba folio を使って、教師の個別添削指導を受け、改訂したレポートのピア・レスポンスを行い、その結果を踏まえて改訂したものを最終稿とする。（ディベート、レポート作成） ＜スクーリング（集中面接授業） 2単位分：基本教材2＞ ・7月中旬に3日間実施されるスクーリング（集中面接授業）に全日程出席する（単位取得要件）（ディベート）。なお、補講を実施する場合がある。 ・スクーリング後、指定された期限までにレポート課題をmanaba folio に提出する。（レポート作成） 【学修時間】 在宅学修では、レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする；1)教材の学修；20時間、2)レポート執筆；10時間、3)レポート推敲と最終稿の完成（教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む）；15時間		
スケジュール （各90分） 7/13⑩10:30～12:00 ⑫12:50～14:20 ⑬14:30～16:00 ⑭16:10～17:40 ⑮17:50～19:20 7/14⑥9:00～10:30 ⑦10:40～12:10 ⑧13:00～14:30 ⑨14:40～16:10 ⑩16:20～17:50 7/15⑪9:00～10:30 ⑫10:40～12:10 ⑬13:00～14:30 ⑭14:40～16:10 ⑮16:20～17:50	本講義は大学院の初年度教育に相当するので、初年度に履修すること。 ＜通信授業（在宅学習）2単位分：基本教材1＞ ・前期：レポート課題1 締切：6月末（初稿）・前期締切日（最終稿） ・後期：レポート課題2 締切：10月末（初稿）・後期締切日（最終稿） ＜スクーリング 2単位分＞ 2019年7月13日～15日（9月中旬に補講を実施する場合がある） 1) 研究、及び論文作成に必要なリテラシー ①研究・論文作成の概論（加藤孝治） ②研究、及び論文作成に求められるもの（加藤孝治） ③論証あるいは検証の方法（泉龍太郎） ④研究倫理1（田中堅一郎） ⑤研究倫理2（田中堅一郎） ⑥先行研究のレビューとその利用方法（保坂敏子） ⑦研究及び論文の進め方（泉隆一郎） 2) 文化情報専攻分野における様々な課題（担当：各科目担当教員） ⑧文学研究Ⅰ（秋草俊一郎） ⑨文学研究Ⅱ（秋草俊一郎） ⑩文学研究Ⅲ（野口恵子） ⑪「文化翻訳」（保坂敏子） ⑫社会言語学（島田めぐみ） ⑬言語教育研究Ⅰ（田嶋倫雄） ⑭言語教育研究Ⅱ（田嶋倫雄） ⑮言語教育研究Ⅲ（保坂敏子） ・スクーリング・レポート課題1：スクーリング1週間後（初稿のみ） ・スクーリング・レポート課題2：スクーリング終了の1か月後（初稿のみ）		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	通信授業 （在宅学習）	50 %	レポート40%（学術論文作成のスキル、課題に応じた内容） 観察記録10%（指摘への対応、期限遵守、ピアラーニング） ・最終期限に提出されなかった場合、評価外とする（0点）。 ・草稿を一度も出さず、提出期限間際に提出した場合は、そのレポート課題の評価点はC以下となる。
	スクーリング	50 %	レポート40%：課題1 10%、課題2 30%（論旨、構成、独創性、論文作成スキル） 観察記録10%（取り組み、討論、発表、期限遵守）10%
履修者への要望	・通信授業（在宅学習）のレポートは、初稿から最終稿にいたるまで、教師のフィードバックによる書き直し、ピア・レスポンスによる推敲、最終稿の完成と段階的に進める。 ・ピア・レスポンスは、それぞれのレポートへの個別指導が終わり次第始まる。 ・レポートでは、引用のルールや参考文献の明示、制限文字数（参考文献、注を除いたもの）を遵守すること。無断引用等、研究倫理上の重大な問題があった場合は、評価の対象外となる。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1（通信授業／在宅学習用）		
教材の概要	(1) 著者名： 佐藤慎司・熊谷由理編 教材名： 『異文化コミュニケーション能力を問うー超文化コミュニケーション能力をめざして』 （ココ出版，2013） ISBN： 978-4-904595-46-6 3,600 円＋税	(2) 著者名： 秋草俊一郎，井上健，古賀太，呉川，椎名正博，Dorsey, John T.，保坂敏子，松岡直美 教材名： JM00C 教材『文化翻訳入門ー日本と世界の文化コミュニケーションー』 （講義映像：後期開始時に配信。一部スクーリングの際に配信する）
	教材(1) は言語教育（日本語・国語・英語）に携わる研究者が「異文化間コミュニケーション能力」の概念について再考したものである。「文化」「コミュニケーション」「能力」の概念の歴史的変遷と問題点を明らかにし，「超文化コミュニケーション能力」という新たな視点を示している。 教材(2)は2017年1月11日～2月7日に開講したJM00C講座『文化翻訳入門ー日本と世界の文化コミュニケーションー』（総合社会情報研究科制作）の講義映像と配布資料である。比較文化，文学，言語教育の研究者が，「文化翻訳」をキー概念に，文化の翻訳・翻案・変容の事例を取り上げ，解説する。	
参考図書	(1) 西山教行・細川英雄・大木充編 『異文化間教育とは何かーグローバル人材育成のために』 （くろしお出版，2015） ISBN-13： 978-4874246733 2,400 円＋税 (2) 渡辺 靖 『〈文化〉を捉え直すーカルチュラル・セキュリティの発想（岩波新書）』（岩波書店，2015） ISBN-13： 978-4004315735 842 円（税込） (3) 『国際シンポジウム「文化翻訳が拓く異文化間コミュニケーション」報告書』（2016年2月22日開催 総合社会情報研究科主催 非売品 後期開始時に pdf で配布）	
履修上の ポイント	第三の文化や個の文化の提唱など，文化の捉え方が問い直されている。それぞれの研究領域における文化の捉え方をクリティカルに検討していただきたい。 また，レポート作成過程でのピア・ラーニングを通じて考察を深めていただきたい。	
レポート課題 1	基本教材1-(1)で第1部述べられている「文化」「コミュニケーション」「能力」の概念の変遷を整理した上で，第2部の実践研究を一つ取り上げて要約し，その実践における「文化」の捉え方，扱い方について他の文化観と比べながら自分の考えを論じる。（本文のみ3000字～4000字） 留意点： 参考図書(1)(2)も参照しながら，要点を分かりやすくまとめて，論考すること。 引用のルールに気を付けながら，事実と意見，自分の意見と他人の意見を区別して書くこと。	
レポート課題 2	基本教材1-(2)を視聴し，一つの講義，あるいは，一人のテーマを選んで要約し，その講義での「文化翻訳」という考え方について説明する。それを踏まえて，具体的な「文化翻訳」の例（作品例，授業実践例）をとりあげて，「文化翻訳」の様相を記述し，なぜそれが「文化翻訳」と言えるのか具体的に論じる。（本文のみ3000字～4000字） 留意点： 取り上げた講義の「文化翻訳」の捉え方について，ポイントをわかりやすくまとめる。	

基 本 教 材 2（スクーリング用）		
教材の概要	著者名：	秋草俊一郎，井上健，古賀太，呉川，椎名正博，Dorsey，John T.，保坂敏子，松岡直美
	教材名：	JMOOC 教材『文化翻訳入門－日本と世界の文化コミュニケーション－』 （講義映像，配布資料（関連論文）：スクーリング開講前に提示・配布します）
	2017 年 1 月 11 日～2 月 7 日に開講した JMOOC 講座『文化翻訳入門－日本と世界の文化コミュニケーション－』（総合社会情報研究科制作）の講義映像と配布資料である。比較文化，文学，言語教育の研究者が，「文化翻訳」をキー概念に，文化の翻訳・翻案・変容の事例を取り上げ，解説する。	
参考図書	佐藤望編著 『アカデミック・スキルズ（第 2 版）－大学生のための知的技法 入門』（慶應義塾大学出版会，2012） ISBN-13: 978-4766419603 1,080 円（税込）	
履修上のポイント	スクーリング前半においては，①研究及び論文の最低条件を理解し，②研究を進めるための基本的なスキルを身に付けるとともに，③研究及び論文作成のモチベーションを高めることを目指す。後半においては，各分野に共通する基礎的な課題を学際的に考察して，研究基盤となる知識・教養の習得に努める。いずれにおいても，事前の準備と講義中の発言及び質問など積極的な姿勢がポイントとなる。	
レポート課題 1	スクーリングの合同講義と専攻別講義の概要をまとめ，自分の意見を論じる。（1000 字～1500 字）	
レポート課題 2	各分野の研究手法の講義や参考図書，スクーリングでの発表と討論を踏まえて， 研究計画書 をまとめて，指導教員のレビューを受けた上で提出する。（3000 字～4000 字）	

科目名	比較文学特講	担当者	アキクサ 秋 草 シュンイチロウ 俊 一 郎	期間	通年	単位数	4
-----	--------	-----	---------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	21 世紀の現在，国外で活躍する作家や，旧植民地にルーツがある作家が増えてきている。そのような作家の書く文学を指して，国文学を内包するものとして「日本語文学」と呼ぶこともある。そのような作家の言語に対する態度を記したエッセイや，その作品を実際に読むことで，母語を相対化する視点が文学作品にどのような影響をあたえるのか考えてみたい。そのような文学作品を熟読することは，当然ながら，わが国の「国語文化」を再考する機会にもなるだろう。同時に，現代における「国語」あるいは「国文学」ということば・概念の持つ意味を再考したい。文学以外が専門の受講生も歓迎する。 以上の目的を達成することにより，豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに，論理的・批判的思考能力をはじめ，問題発見・解決力，コミュニケーション能力，挑戦力，省察力を身につけることを目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:1, A-2:2, A-3:3, A-4:4, A-5:4, A-6:4, A-7:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 現在，文学を学ぶ上で重要な概念であるバイリンガリズムやポストコロニアリズムについて理解し，それが国語を構成する文学表現としてどう使われるのか知ること。またレポートの文章表現も，内容にふさわしい高いレベルを達成すること。 【行動目標（SBOs）】 論文を書く上で必要な学術的な用語を正確に使えるようになること。文芸作品を精読し，自分のことばで分析できるようになること。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 インタラクティブなレポート提出システム manaba を用いる。 【学修方略（LS）】 自主研究。教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては，草稿から最終稿に至るまで，履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。 【学修時間】 各レポート課題の準備から完成までに，以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：15 時間 レポート執筆：15 時間 レポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15 時間		
スケジュール	前期：6 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1) 初稿を提出。 7 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1) 最終稿を提出。 8 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(2) 初稿を提出。 9 月 19 日までに教材 1 のレポート課題(2) 最終稿を提出。 後期：10 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1) 初稿を提出。 11 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1) 最終稿を提出。 12 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(2) 初稿を提出。 2020 年 1 月 14 日までに教材 2 のレポート課題(2) 最終稿を提出。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材を精読理解し，課題に応える内容となっているか，また，学術論文の体裁が整っているか評価する。
	観察記録	20 %	メール，manaba 等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	レポート作成は修士論文執筆のための重要な準備である。教材を熟読し，可能な範囲で関係資料を参考にして課題にとりくむこと。引用については盗用にならないよう十分注意してほしい。manaba のコミュニティや掲示板でのディスカッションなど，積極的な参加を求める。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 多和田葉子 教材名： 『エクソフォニー——母語の外へ出る旅』(岩波現代文庫, 2012), ISBN 978-4006022112 860 円＋税 『かかとを失くして 三人関係 文字移植』(講談社文芸文庫, 2014), ISBN 978-4062902274 1500 円＋税
	多和田葉子は、ドイツで活躍する日本語・ドイツ語のバイリンガル作家であって、国際的な文学賞を数々受賞し、ノーベル賞に近いとも言われている。その代表的な評論と作品である。
参考図書	多和田葉子『言葉と歩く日記』(岩波新書, 2013), ISBN 978-4004314653 760 円＋税 エミリー・アプター『翻訳地帯——新しい人文学の批評パラダイムにむけて』(慶應義塾大学出版会, 2018), ISBN 978-4766425185 5500 円＋税
履修上のポイント	「エクソフォニー」という多和田葉子による造語が意味する概念をつかんだうえで、その作品を読んでみてほしい。
レポート課題 1	『エクソフォニー』を読んで、そこに書かれている著者の母語と外国語に対する考え方をまとめたうえで、それに対する自分の意見を述べなさい。(2000 字以上) 留意点： 単純にあらすじを述べるだけにならないよう留意しなさい。
レポート課題 2	『かかとを失くして 三人関係 文字移植』に収められた短編のうち、どれか一作品を選び、作品について自由に論じなさい(引用・注・参考文献をのぞいて 3000 字以上, 上限なし)。 留意点： ①参考文献・先行研究・他作品を最低二つ以上あげ、自説を説得的なものにすること, ②選んだ作品からの引用(最低三行以上)を適切な方法でおこなうこと。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 温又柔 教材名： 『台湾生まれ 日本語育ち』(白水社, 2015), ISBN 978-4560084793 1,900 円＋税 『来福の家』(白水社, 2016), ISBN 978-4560072080 1,400 円＋税
	温又柔は 1980 年生まれの比較的若い台湾出身の作家(母語は日本語)の作家である。
参考図書	リービ英雄『日本語を書く部屋』(岩波書店, 2011), ISBN 978-4006021917 860 円＋税 エミリー・アプター『翻訳地帯——新しい人文学の批評パラダイムにむけて』(慶應義塾大学出版会, 2018), ISBN 978-4766425185 5500 円＋税
履修上のポイント	「台湾生まれ 日本語育ち」という著者のアイデンティティはどこにあるのか、場合によってはアメリカ出身の日本語作家リービ英雄とも比較しながら考えてみてほしい。
レポート課題 1	『台湾生まれ 日本語育ち』を読んで、著者の母語と外国語に対する考え方をまとめたうえで、それに対する自分の意見を述べなさい。(2000 字以上) 留意点： 単純にあらすじを述べるだけにならないよう留意しなさい。
レポート課題 2	『来福の家』を読み、作品について自由に論じなさい(引用・参考文献・注をのぞいて 3000 字以上)。 留意点： ①参考文献・先行研究・他作品を最低二つ以上あげ、自説を説得的なものにすること, ②『来福の家』からの引用(最低三行以上)を適切な方法でおこなうこと。

科目名	メディア文化論特講	担当者	ホリエ 堀江 ヒデフミ 秀 史	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	インターネットが台頭して以降、現代のメディア状況はさらに複雑化し多様化したように見える。本科目では、メディアのなかでも主たる位置を占める〈映像〉に注目する。現代にいたるまで、〈映像〉がどのような歩みをたどって来たのか、技術的、思想的な背景を学び、現代のメディアにアプローチする基盤となる知識と方法を習得することを目指す。前期では、その技術的な発展の歴史を学び（19世紀末まで）、後期では、1960年代～70年代日本で加速度的な盛り上がりを見せた映像論を読む。これらの学習と同時に、本科目では、自国の言語（この場合は「国語」としての日本語）を用いた文献の操作方法を学ぶ。また、〈映像〉を〈言語〉で表わす営みである映像論（映像の批評）を精読し、かつ自らも書くことで、「日本語」で思想を表現することの意味についても問い直してみたい。【日本大学教育憲章ルーブリック：A-3:1, A-3:2, A-3:3, A-4:1, A-4:2, 】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 ・1960年代～70年代日本の映像文化に関する知識を得る。 ・個別の映像作品に対して、批判的に思考する視座を得る。 ・自らの抱く批評的な考えを説得的、論理的に展開するための学術的な書き方を身につける。 ・メディアの歴史を学び、現代のメディア状況を相対化して思考する習慣をつける。 【行動目標（SB0s）】 ・映像技術が生まれるに至る過程を、適切な人名及び仕組みの名称を使って説明できるようになる。 ・1960年代～70年代日本の映像文化に関する知識を得る。同時代に問題にされた作品や人物を三項目以上説明できるようになる。 ・「引用」とはどのような営みであるか、自分の言葉で説明できるようになる。		
学修方略 （方法）	【学修方略（LS）】 教材と関係資料を読み、課題レポートを、教員とのやりとりを経ながら、年間計四本提出してもらう。途中、自ら国会図書館その他で関連資料を調べに行く必要がある。自習、自主研究、レポート作成が本課目の学修方略となる。基本教材、参考図書以外に必要な資料は、履修後（4月半ば以降）にメール等で適宜指示、配布する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 毎回のレポートに対して、内容面、形式面について具体的な添削を施しフィードバックする。やりとりはmanaba folio を通じて行なう。 【準備学修項目と準備学修時間（レポート一本あたり）】 教材の学修：10 時間 調査、資料集め：20 時間 レポート執筆：10 時間 最終稿までの添削と執筆のやりとり：10 時間		
スケジュール	<前期>教材 1 を使用 ・レポート課題 1 の初稿を 5 月末までに、最終稿を前期締切日（9 月 1 9 日）までに提出。 ・レポート課題 2 の初稿を 7 月末までに、最終稿を前期締切日（9 月 1 9 日）までに提出。 <後期>教材 2 を使用 ・レポート課題 1 の初稿を 9 月末までに、最終稿を後期締切日（1 月 1 4 日）までに提出。 ・レポート課題 2 の初稿を 1 1 月末までに、最終稿を後期締切日（1 月 1 4 日）までに提出。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	1、学術論文としての体裁（引用の方法、注の付け方など）、 2、論理構成（説得的な論の展開となっているか、文章が読みやすい順番に並んでいるか）、 3、独創性（問題設定、解釈の内容と方法、文体など） 上記三つの観点から、総合的に判断する。
	観察記録	20%	レポート作成過程での質問や、レポート添削の対応
履修者への要望	映像文化に関する予備知識は必要としない。不明な点、分からないことに対しては、メール等で随時対応するので、積極的に連絡をとること。但し、自ら調べる能力を高める意図もあるので、方法は提供するが、直接的な情報は自ら図書館へ出向くなどして執筆を進める必要がある。 レポートは、草稿から最終稿にいたるまで、教員とのやりとりを通じて段階的に進めること。従って、執筆は計画的に進めること。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	1－1、吉見俊哉 ISBN 978-4-641-12487-5 税抜 1800 円 著者名：『メディア文化論 メディアを学ぶ人のための 15 話 改訂版』（有斐閣アルマ、2012 年） 教材名：1－2、飯田豊編 ISBN 978-4-7793-0532-0 税抜 1900 円 『メディア技術史 デジタル社会の系譜と行方 改訂版』（北樹出版、2013 年）
	1－1 は、メディア論における学問的な関心を、体系的に学ぶことが出来る。 1－2 は、絵や印刷、音を含む、表現やメディアの物理的、技術的な歴史を概観できる。
参考図書	岩本憲児、高村倉太郎監修『世界映画大事典』（日本図書センター）＝図書館で適宜関係項目を読むこと。 安友志乃『写真のはじまり物語』 雷鳥社、2009 年
履修上のポイント	身体感覚として理解し易く、再現も比較的容易なアナログ技術としての映像の発達史を学び直すことで、デジタル技術が遍く行き渡っている現代を相対化する視点を養ってほしい。ただ歴史を「勉強」するのではなく、現代において得られたもの、失われたものは何かといったかたちで、現代に直結する問題であるという意識を持つこと。
レポート課題 1	写真技術がどのようにして生まれたのか、基本教材等を参照して、歴史的な概要をまとめなさい。2000 字以上。 留意点： 科学（化学）的な観点は最小限に留め、人文学的な観点からのみ論じれば良い。（誰が、いつ、どのように生み、その社会的な反応はどのようなものであったか等）
レポート課題 2	課題 1 を発展させる形で、写真技術にどのような要素が加わって、映画メディアが誕生したのか、概要をまとめなさい。4000 字以上。 留意点： 「定着」、「投影」、「動き」という三つの観点から論述すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 中平卓馬 ISBN 978-4-480-09110-9 税抜 1200 円 教材名：『なぜ、植物図鑑か 中平卓馬映像論集』（ちくま学芸文庫、2007 年）
	中平卓馬（1938-2015）は、日本の写真家であり、批評家である。盟友の森山大道とともに、「写真とは何か／何であるべきか」という根源的な問いを抱き、思索を続けた。主に 1960-70 年代に、先鋭的な批評を著し、写真実作でそれを実践した。アルコールの過剰摂取で昏睡し言葉をほとんど失った 1977 年以降も、写真を撮り続けた。本書は、その中平が 1973 年に刊行した評論集の文庫化である。
参考図書	『中平卓馬 来たるべき写真家』（KAWADE 道の手帖）、河出書房新社、2009 年
履修上のポイント	本書に収録される、〈映像〉にまつわる様々な論考を通じて、中平が一貫して主張することはなにかを考えて欲しい。写真や映像がマスメディアを通じて広がることでわれわれの意識にはどのような変化が生じるのか。それをいかに克服することが可能か。中平の評論を味読し、自らも映像批評を書くことで現代メディアにも応用可能な批判的思考を身につけてほしい。
レポート課題 1	「基本教材 2」に集められた批評の内、興味のあるもの 1～2 本について、詳細に分析しなさい。「詳細な分析」の内容については別途指示。（2000 字以上） 留意点： 写真論、テレビ論、映画論、広告論等があるので、自身の興味のある分野の論文を選ぶこと。論文中で言及される映画、小説等については、原資料に戻って確認し、レポートに反映すること。即ち、基本教材を超えて自ら調べて資料に辿りつき、それに触れる（観る・読む）必要がある。調べ方についても別途指示する。
レポート課題 2	巻頭論文「なぜ、植物図鑑か」の議論に関連付ける形で、任意の映画一本（自ら選ぶこと。但し、特別な理由がない限り、実写映画とする）を、自由に論じなさい。3000 字以上、上限なし。 留意点： あらすじの説明に終始しないこと。つまり、それが「小説」とか「演劇」とかでなく、「映像」であることの意味を考え、それを中心に論じること。その映画を観ていない人が読んで「観たい」と思わせられればなお良い。

科目名	翻訳論特講	担当者	イノウエ 井上 ケン 健	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	--------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	近現代日本の翻訳文学を検討して、近代日本の文学者たちが、西欧文学から何を学び、そこから何を創り出していったのかを考える。あわせて、西欧語から日本語への翻訳の過程において、いかなる規範が作動していたのか、西欧文学の受容の結果、文学や文化のシステムがいかに更新されたかを検証する。		
到達目標	【一般目標（GIO）】 翻訳というものを介して西洋近代を摂取し、消化し、自らの文化としてきた、近代日本の文学・文化を、翻訳研究、比較文学・比較文化研究の視点から、あらためて捉え直すことによって、日本近代文学・文化への、学際的、相対的、複合的視野を涵養する。 【行動目標（SB0s）】 異文化交渉の諸相を、翻訳というプロセスに着目することによって、具体的に、可視的に把握する能力を獲得する（知識・解釈・技能）。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 レポート作成による。レポート作成に要する時間は45時間。 まずは、教材、取り上げる作品をきちんと精読してから、一次資料、二次資料の参照に進む。レポート作成にあたっては、「何を明らかにしたいのか」という命題から出発し、それに基づいた構成、章立てを考え、「何が明らかになったのか」が読む者に明確に伝わるように記述する。その間、履修者と担当者間で、十分な質問やコメントのやり取りがあることが望ましい。 【学習時間】 翻訳論の基礎的文献にふれておく。		
スケジュール	レポート課題(1)、レポート課題(2)の初稿提出期限は、それぞれ12月末、8月末とする。最終稿の提出期限は、前期 / 後期締切日とする。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	90%	論文にふさわしい構成、記述になっているか、結論に一定程度、独自性があるか、を判断基準とする。
	観察記録	10%	学習姿勢全般を評価の対象とする。
履修者への要望	レポート執筆は、学位取得論文の基礎工事部分に相当する。短いレポートがしっかりまとめられなくては、学位論文執筆はとうてい覚束ない。まずは教材を、自分が主たる素材として取り上げようとする作品や言説のテキストを、しっかりと読み解くこと。その上で、そこから課題、テーマを発見し、その解決に必要な調査をする。manabaのコミュニティや掲示板など、学習ツールを積極的に活用することが望ましい。分量は特に指定しないが、5,000字ほどが一つの基準となる。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 井上 健 教材名： 『文豪の翻訳力：近現代日本の作家翻訳』（武田ランダムハウスジャパン，2011年） ISBN:978-4-27-000665-8 2,200 円+税
	谷崎潤一郎から村上春樹まで，近現代日本の作家たちが手掛けた翻訳の検討を通じて，日本の作家たちが西欧近代文学から何を学び取ろうとしたのか，翻訳を自ら手掛けることが，彼らの文学に，その主題や文体にいかなる影響を及ぼしたかを，歴史を追って論じたものである。主に戦後作家の翻訳を論じた後半は，翻訳術を学ぶ実践的教材としても利用することができる。 本教材が入手困難な場合は，図書館で『文学』（岩波書店）の2012年7,8月号「特集＝翻訳の創造力」を参照のこと。
参考図書	安西徹雄『英文翻訳術』筑摩書房（ちくま学芸文庫，1995年） ISBN:978-4-48-008197-1 880 円+税 柳父章『翻訳語成立事情』（岩波新書，1982年）ISBN: 978-4004201892 780 円+税
履修上のポイント	翻訳という異言語・異文化を変換する営為の総体をとらえるには，その理論，歴史，実践を，バランスよく目配りしつつ学び，そうして獲得したものを総合していく必要がある。本科目においては，まず英文を日本語に変換するに際して，そこにいかなる原則，方法を設定できるかを，参考図書を中心にして検証する。続いて，そうして得られた知見をもとに，教材として指定した書を通じて，近現代日本の翻訳文学を検討して，大正，昭和の日本文学者たちが，西欧文学から何を学び，そこから何を創り出していったのかを考察する。
レポート課題 1	英日翻訳の方法について，事例に即して，なるべく具体的に論じなさい。 留意点： 品詞別（名詞，動詞，副詞など），文法事項別（時制，話法，仮定法など）に一つ主題を設定して，英日翻訳にはいかなる原理原則を設定することが可能であるかを，事例を引きつつ論じる。
レポート課題 2	翻訳文学が近現代日本文学に何をもたらしたかについて，作家，作品になるべく具体的に言及しつつ論じなさい。 留意点： 近代日本の文学者たちが，西欧文学から何を，いかに受け入れていったのかを，訳文や文学作品を適宜，引用しつつ，具体的に検討する。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 柳父章ほか編 教材名： 『日本の翻訳論：アンソロジーと解題』（法政大学出版局，2010年） ISBN:978-4-58-843616-1 3,300 円+税
	近代日本翻訳論のアンソロジーに解題を付したものの。近代日本において，翻訳文学，翻訳文化がいかなる機能を果たしてきたかを歴史的に把握することができる。
参考図書	佐藤・ロスベアグ＝ナナ（編）『トランスレーション・スタディーズ』（みすず書房，2011年） ISBN:978-4-62-207634-6 4,800 円+税 三ツ木道夫（編）『思想史としての翻訳』（白水社，2008年） ISBN: 978-4-560-02477-5 3,400 円+税
履修上のポイント	欧米の翻訳論，翻訳研究の歴史，水準に照らして，近代日本の翻訳論の系譜を，いかに評価し，いかに位置づけるかを検討する。参考図書は，1980年代以降，進展してきた，西欧の「翻訳学」（Translation Studies）の概要をたどり，その日本文化への適用の可能性を模索した論集。なお，欧米の「翻訳学」の優れた入門書としては，ジェレミー・マンディ『翻訳学入門』（みすず書房，2009年）などがある。
レポート課題 1	日本の翻訳論から一篇を選んで，その主張するところをまとめ，それが翻訳論としていかなる歴史的意味を持つものであるかを論じなさい。 留意点： 翻訳を論じる際に必要な用語や概念については，あらかじめ基礎知識を修得しておくことが望ましい。
レポート課題 2	日本の翻訳論から一篇を選んで，西欧語をベースとした翻訳論と比較することによって何が見えてくるか，翻訳および翻訳論の日本的特性について論じなさい。 留意点： 比較文学・比較文化の視点に立脚しつつ，日本と西欧との翻訳論を比較，検討する。

科目名	日本文化論特講Ⅰ	担当者	コンドウ ケンシ 近藤 健史	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	古代日本人の人々が、外国からの「文化」や「言語・文字」を受け入れたことにより、何を創造したのかを考えることを目的とする。具体的には、奈良時代における東アジアとの異文化交流にあって、日本人は何を創造したのか、どのように外国語と付き合っていたのか明らかにする。以上の目的を達成することにより、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的・批判的思考力をはじめ、問題発見・解決力、挑戦力、省察力を身に付けることを目指す。		
到達目標	【一般目標（GIO）】 日本文化の原点を考えることで、日本語や日本文化、東アジア文化など、国境を越えて移動する人々の言語と文化の様相を理解し、分析する能力を習得する。 【行動目標（SB0s）】 古代日本における異文化交流について説明でき、そこから創造された新しい文化を分析・探求でき、それを論述できる。現代社会における異文化交流に配慮できる。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 教材テキストを在宅学修して、レポート課題について図書館や資料館などを利用し参考文献等を調査した後、レポートを作成し、教員より数回の添削指導を受けることを基本とする。（自習、自主研究、レポート作成） 【学修時間】 レポート課題1つにつき、準備から完成まで、以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：20時間 レポート執筆：10時間 レポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15時間		
スケジュール	前期：基本教材『万葉びとの生活空間』を学修して、前期レポート課題（1）（2）について、初稿は7月末までに、最終稿は9月19日（前期締切日）までにレポートを提出する。 後期：基本教材『古代日本人と外国語』を学修して、後期レポート課題（1）（2）について初稿は11月末までに、最終稿は1月14日（後期締切日）までにレポートを提出する。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	100%	教材・課題の理解度。論旨の一貫性。要約力。表現力。解釈の妥当性。
	観察記録		
履修者への要望	参考文献に示したもの以外にも、各自で関連する研究論文等を探して読んで欲しい。 単に基本教材のまとめにならないように、積極的な熱意のあるレポートを望む。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 上野誠 教材名： 『万葉びとの生活空間』（塙書房，はなわ新書 078, 2000 年）ISBN:978-4-82-734078-5 1,200 円+税
	本教材は、飛鳥・奈良時代の万葉びとが生活した空間の中で、どのような万葉歌の表現が生まれてきたのかについて述べている。具体的には、万葉びとと「都」「庭園」「耕作地」などの生活空間との関係である。
参考図書	上野誠『万葉びとの奈良』（新潮，新潮選書，2010 年）ISBN:978-4-10-603655-2，1,100 円+税 渡瀬昌忠『渡瀬昌忠著作集 第六巻 島の宮の文学』（おうふう，2003 年）ISBN:978-4-27-303256-2 12,000 円+税 辰巳正明『悲劇の宰相・長屋王』（講談社，1989 年）ISBN:978-4-06-258019-9 参考文献は、教材の巻末に「参考文献一覧」と記してある。
履修上のポイント	東アジアにおいて、「武」の王から「文」の王に転じようと帝王たちは歴史に名を残す「庭園」を造ったという。わが国においても飛鳥・奈良時代から王の宮や個人の邸宅に「庭」が造られた。古代庭園の思想が、歌や生活とどのようにかわるのかを理解することが大切である。 本教材の「はじめに」を必ず読むこと。
レポート課題 1	万葉びとの生活空間における「シマ」と呼ばれる庭園の文化的意味について説明してください。 留意点： 庭園が「シマ」と呼ばれる意味、「島の大臣」の呼称、「島の宮」の主人、「島の宮」の歌（巻 2-171～193）などについて考える。
レポート課題 2	長屋王の庭園，作宝楼における「菊花の宴」と「尾花の宴」の歌の場とその意味について説明しなさい。また、二つの宴の様子を想像し，説明してください。 留意点： 「菊花の宴」（『懷風藻』66・68・71）と「尾花の宴」（『万葉集』巻 8-1637・1638）を理解すること。そして「菊花」「尾花の室」の意味することについて考える。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 湯沢質幸 教材名： 『増補改訂 古代日本人と外国語—東アジア異文化の交流の言語世界—』（勉誠出版，2010 年）ISBN:978-4-58-528002-6 2,800 円+税
	本教材は、古代日本における異国言語との格闘の歴史を明らかにしたものであり、「言語」から考える東アジア文化交流史である。なお「主要参考文献」が巻末にある。
参考図書	平川南他編『文字と古代日本 2-文字による交流—』（吉川弘文館，2005 年）ISBN:978-4-64-207863-4 6,500 円+税 岸俊男編『日本の古代 14-ことばと文字—』（中央公論新社，1996 年）ISBN:978-4-12-402547-7 1,748 円+税 大島正二『漢字伝来』（岩波書店，2006 年）ISBN:978-4-00-431031-0 760 円+税
履修上のポイント	古代日本人は、東アジアの人々とどのような言語で交流し対処していたかを学んで欲しい。
レポート課題 1	古代日本人は、外国語に何を感じたのか説明しなさい。 留意点： 呉音・漢音・仏教界・儒学界などをキーワードとして考えること。
レポート課題 2	古代日本における「通訳」の役割と実態について説明しなさい。 留意点： おさ・対象国・身分・養成などをキーワードとして考えること。

科目名	日本文化論特講Ⅰ	担当者	ノグチ ケイコ 野口 恵子	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	古代の日本文学作品を取り上げる。日本の古代には、人々が共有していたルールが存在していた。21世紀の我々からすれば、つい我々の常識を当てはめてしまおうとするが、それでは古代の人びとの思考を理解することはできない。作品を読む際も同様で、古代の人々の共同性を想定する必要がある。この点を踏まえた上で、文学の生成と展開の様相はどのようなものなのかを自ら考え、その時代の文化的特徴を捉える。また、資料の扱い方、分析の方法といった研究手法も身につけることを目的とする。【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4 A-3:4 A-4:4 A-8:4】		
到達目標	【一般目標(GIO)】 研究しながら、生きる力を身に付ける。 【行動目標(SBOs)】 古代の人々は、自らを取り巻く状況をどのように捉えていたのかを指摘する。またこうした営みの継続は、現代社会における異文化に対する理解へと繋げることが可能であることを関係づける。加えて、修士論文の執筆時に必要となる研究手法を、基本教材から体得し、応用する。		
学修方略(LS)と学修時間	①まずは基本教材を精読し、各章ごと内容をまとめる。それから課題に取り組む。理解が深まらない時は、同テーマの参考図書を精読する。比較することにより、他者の考えとの相違に気付く。(自習)【SBO①】【20時間/レポート1本】 ②レポートの課題テーマに沿って、用例や情報の収集を行い、分析・整理をする。(自由研究)【SBO②】【10時間/レポート1本】 ③レポートの草案を練る。その際、序論+本論+結論の構成に基づくこと。(レポート作成)【SBO③】【5時間/レポート1本】 ④manaba foliowoでの掲示板機能を利用して受講者同士のディスカッション、あるいは複数回にわたる教員によるレポート添削を行い、最終版を完成させる。(ディベート)【SBO④】【10時間/レポート1本】		
スケジュール	前期：教材1のレポート課題(1)→6月末まで(初稿) 教材1のレポート課題(2)→8月末まで(初稿) 後期：教材2のレポート課題(1)→10月末まで(初稿) 教材2のレポート課題(2)→12月末まで(初稿) ※いずれも最終稿の提出期限は、前期は9月20日、後期は1月15日とする。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	課題にきちんと答えられているか、またレポートの体裁、例えば起承転結の構成になっているか評価する。
	平常評価	20 %	提出物の有無やメール、manabaでの活用度を評価する。レポート添削に対する対応等も含む。
履修者への要望	基本教材に書かれている専門用語等、理解できない内容が見つかった場合は、すぐに教員に質問せず自分でまず調べて欲しい。自分で調べて理解した方が、身につけやすいからだ。もちろん、辞書などに説明がない内容もある。その場合は教員が指導する。 また、1度の精読で内容がまとめられなかった場合、そこであきらめずに、何度も読み返してみよう。私自身も何度も読み返している。論文の読解・執筆は、繰り返し行うほど学習効果が高い。 なお、履修登録を行う際に、履修登録した旨を書いたメールを担当教員：野口に送ってほしい(noguchi.keiko@nihon-u.ac.jp)。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 古橋信孝 教材名： 『文学はなぜ必要か 日本文学&ミステリー案内』（笠間書院・2015 年） ISBN:978-4-305-70784-0 2400 円＋税
	なぜ文学が人間に必要なのかを考えている一書。同時に、言葉とはどういうものかという問いに向き合いながら、文学の面白さ、その時代にはどのような問題を孕んでいたのかなどにも触れている。そのような考えの中から、日本語の文学の流れにまで言及している。
参考図書	古橋信孝『神話・物語の文芸史』（ペリかん社・1992年）、『日本文芸史』【全8巻】（河出書房新社・1986～2005年）など
履修上のポイント	各時代を代表する文学作品を取り挙げている。それぞれの時代がどういう時代だったのか、また時代によって文学の性質が異なることにも留意してほしい。加えて、なぜその文学がその時代に要求されたのかについても考えて欲しい。なお、この教材は、著者がすでに論文で書いた内容を踏まえて書いている箇所が多々あるので、必要に応じて著者の論文も読む方が望ましい。
レポート課題 1	第1章から第6章までの中から一つの章を取り上げ、そこで議論されている問題点について説明した上で、あなたの考えを述べなさい。（3000字） 留意点： 各章のタイトルは疑問形式で付けられている。その問いに対して、筆者はどのように結論を導いているのか、またあなたはその結論に対してどのような考えをもっているのかを述べること。
レポート課題 2	第7章から第12章までの中から一つの章を取り上げ、そこで議論されている問題点について説明した上で、あなたの考えを述べなさい。（3000字） 留意点： 各章のタイトルは疑問形式で付けられている。その問いに対して、筆者はどのように結論を導いているのか、またあなたはその結論に対してどのような考えをもっているのかを述べること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 梶川信行 教材名： 『額田王―熟田津に船乗りせむと―』（ミネルヴァ書房・2009 年） ISBN:978-4-623-05598-2 3000 円＋税
	『万葉集』の女流歌人として名高い額田王は、生身の実態を持った存在ではない。本書では、七世紀に実在した皇裔の一人で、『万葉集』に「額田王」として名を残した女性を捉えようとしている。そして、そのような彼女の動きの中で、いかに作品が生まれたのかを考えている一書である。
参考図書	梶川信行『創られた万葉の歌人 額田王』（はなわ書房・2000年）、多田一臣『額田王論―万葉論集一』（若草書房・2001年）など
履修上のポイント	『万葉集』に「額田王」として名を残した女性と、『日本書紀』に「額田姫王」として名を残した女性とは同一人物である。しかし、文学作品と歴史書という編纂目的が異なる書物では、同一人物であっても扱い方が異なっている。その違いに留意すること。また、本書から、資料の扱い方や資料の分析方法などの研究手法を学んでほしい。
レポート課題 1	「宮廷歌人」として、額田王はどのような役割を担っていたのかを、具体例を挙げながら説明しなさい。（3000字） 留意点： 「宮廷歌人」は、古代の官僚制度の中に存在しない呼称である。そのような呼称で額田王を捉えることによってどのような問題を孕んでいるのかについても留意してほしい。
レポート課題 2	天智挽歌群と持統朝の作品における額田王の作歌状況は、それまでの作品とは異なる。両者を比べてどのように変化しているのか、それぞれ説明しなさい。（3000字） 留意点： 天智天皇の死後、作歌状況において明らかな違いが見られる。例えば、天武天皇の時代の作品が一首も残されていないなど。そのような違いを見逃さないでほしい。

科目名	日本文化論特講Ⅰ	担当者	オタギリ フミヒロ 小田切 文 洋	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	日本の古典詩歌の本質を考えることは、日本文化の核心を考えることにもつながる。日本の古典詩歌の歴史には、時代ごとの特色があり、それぞれに豊かな成果がある。古典詩歌の多様性を体験する中から、個々の作品を貫く原理や詩歌史の連続性を考えることが目的となる。 以上の目的を達成することにより、豊かな教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的批判能力を育成し、問題発見とその解決能力、コミュニケーション能力、省察の能力が身に付けられることを目指す。【日本大学教育憲章ルールブック：A-1：2・3，A-2：3・4，A-3：2・3，A-4：3・4，A-8：2・3】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 古典の読解力を高めるとともに、日本文学研究、または比較文学研究に必要な専門性を修得することが目標となる。 【行動目標（SB0s）】 古典詩歌の解釈を踏まえて、日本の伝統詩形の本質を理解する。古典詩歌の解釈に必要な注釈書や辞書の活用の仕方、データベースの運用能力など、総じて古典解釈の応用力を修得する。		
学修方法 学修方略(LS) 学修時間	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folio を使った対話型の添削指導を丁寧に実施する。 【学修方略（LS）】 レポートと自習を中心とする。文学研究一般に通じることだが、個々の研究テーマに即して基本となるテキストを熟読する。図書館、またインターネットを活用して、研究に必要な論文を調査し、研究動向を理解しながら自主的にレポートを作成する。 【学修時間】 学修時間は、仕事の負担量との兼ね合いで決まるが、課題レポート1本につき最低45時間の学修時間が求められていることを念頭に置き、課題をまとめて下さい。目安としては、教材の学修：30時間 レポートの執筆：10時間 レポートの推敲と最終稿の完成(教員の指導を含む) 5時間		
スケジュール	<前期> ・レポート課題1 締切：6月末（初稿） 前期締切日 （最終稿） ・レポート課題2 締切：8月末（初稿） 前期締切日 （最終稿） <後期> ・レポート課題1 締切：10月末（初稿） 後期締切日 （最終稿） ・レポート課題2 締切：12月末（初稿） 後期締切日 （最終稿）		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	90%	レポートの内容(論文の構成力・引用文献の適切性・研究成果の有意義性)
	観察記録	10%	草稿から最終提出までの間の質疑応答
履修者への要望	レポート課題は細かく設定していません。ご自分の研究テーマに合わせて課題の変更は可能なので、受講する場合は一度ご連絡下さい。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 大岡信 教材名： 『うたげと孤心』 岩波文庫，2017 年 (ISBN978-4-00-312022-4、910 円+税)
	この著作で「うたげ」というのは、「笑いの共有。心の感合。二人以上の人々が団欒して生み出すもの」をいう。日本詩歌の創作の場にはたえずこの「うたげ」の原理が強く働いていた。同時にそれと相反する創作者の「孤心」が深められ、両者が緊張的に牽引しあうことで、古典詩歌の名作は生まれてきた。
参考図書	大岡信『日本の詩歌 その骨組みと素肌』岩波文庫，2017 年 井上 宗雄・武川忠一編『新編和歌の解釈と鑑賞事典』笠間書院，1999 年 ニヶ崎彬『花鳥の使い 歌の道の詩学Ⅰ』勁草書房，1995 年 川本皓嗣『日本詩歌の伝統—七五七の詩学—』岩波書店，1991 年 藤井貞和編『折口信夫古典詩歌論』岩波文庫，2012 年 風巻景次郎『中世の文学伝統』岩波文庫，1985 年
履修上のポイント	日本の古典詩歌は、和歌(『古今和歌集』『新古今和歌集』『拾遺愚草』など)・連歌(『水無瀬三吟』『湯山三吟』など)・俳諧(『芭蕉七部集』『蕪村七部集』など)・歌謡(『梁塵秘抄』など)の各ジャンルで多くの名作がある。歴史と伝統を背景にした古典詩歌を論ずることは、日本文学の独自性を考えることであり、日本的美意識を明らかにすることにもなる(日本歌学を美学から分析した、大西克礼『幽玄とあはれ』岩波書店，1939 年のような研究もある)。幸田露伴や現代詩人の安東次男が評釈している芭蕉連句は、心の通う者同士の座を背景に「孤心」を鋭く磨いて時代の頂点に立つ作品である(安東次男『芭蕉連句評釈 上・下』講談社学術文庫，1993・1994 年)。
レポート課題 1	日本古典詩歌史上の名作(作品集、または詩人)を一つ選び、作品の分析を中心に大岡信の問題提起も踏まえてレポートをまとめる 留意点 ：テーマが決まったら、個別の参考図書を指示する。
レポート課題 2	リポート課題 1 と同じ。 留意点 ：先行研究の調査には、CiNii(http://ci.nii.ac.jp/)や国文学論文目録データベース(http://base1.nijl.ac.jp/~rombun/)などのデータベースの活用が欠かせない。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 大岡信 教材名： 『詩人・菅原道真 うつしの美学』岩波現代文庫，2008 年 (ISBN978-4-00-602136-8、900 円+税)
	大岡信はこの著作の中で、「写す・映す・移す」の意味を含む「うつし」の概念から日本文化の本質を考えている。中国の古典詩形を移入しながら、模倣から高次の創作へと深めていった道真の詩の世界が縦横に論じられている。「力強い構築性をもった叙事的精神」と「内面の抒情的な叫び」とが有機的な繋がりを持ちながら道真の内面において詩の一体性を形作っていると大岡は指摘している。
参考図書	菅野禮行・徳田武校注訳『日本漢詩集』(新編日本古典文学全集 86)小学館，2002 年 富士川英郎『江戸後期の詩人たち』(東洋文庫 816)平凡社，2012 年 富士川英郎『菅茶山と頼山陽』(東洋文庫 195)平凡社，1971 年 富士川英郎『菅茶山』福武書店，1990 年 中村真一郎『頼山陽とその時代 上・下』ちくま学芸文庫，2017 年 『森鷗外全集 7・8 伊沢蘭軒 上・下』ちくま文庫，1996 年 三好達治『諷詠十二月』講談社学芸文庫，2016 年 吉川幸次郎・三好達治『新唐詩選』岩波新書，1952 年
履修上のポイント	日本漢詩の歴史は、菅原道真を最大の詩人とする王朝時代、夏目漱石が愛読した『蕉堅藁』の作者絶海中津ら禅者たちの活躍する五山時代を経て、儒学が普及し多くの詩人たちが輩出する江戸時代に大別することができる。江戸漢詩の魅力を発見したのはヨーロッパ文学者である。漢詩という詩形の面白さを鑑賞したい。漢詩は東アジアの各地域で作られたが、本場の中国で日本漢詩がどう評価されているか考えるのも一つの視点になる(李寅生著 宇野直人他監訳『漢詩名作集成 日本編』明德出版，2016 年、中国では劉硯・馬沁選編『日本漢詩新編』安徽文芸出版社，1985 年など、日本漢詩の詞華集が数種出ている)。
レポート課題 1	外国からの文化移入とそれを高次の概念に昇華していく文化的営為という、日本文化の本質的な問題を指摘した大岡の視点を踏まえながら、日本漢詩の三つの時代の中から一人の詩人を選び、その作品を鑑賞しなさい。 留意点 ：テーマが決まったら、個別の参考図書を指示する。
レポート課題 2	リポート課題 1 と同じ。

科目名	日本文化論特講Ⅱ	担当者	ハセガワ マサエ 長谷川 正江	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	江戸時代の文化・文学を、主として民間出版業の興隆を背景とする出版文化の成立の視点から検討する。当初天皇家の勅版、将軍家の官版に発した出版は、次第に私家版から民間の出版業者へとその中心を移す。和漢の古典籍の刊行に始まり仮名草子、浮世草子、俳諧等の新作の文芸書、正本や絵入狂言本等の演劇関係書、名所・遊里案内書や遊女評判記、役者評判記等の遊興のガイドブック、絵本・浮世絵等の美術、重宝記や節用集等の実用書といった世界に類例を見ない多種多様な江戸時代の刊行物が今日に遺る。現代のサブカルチャーに繋がる文化の大衆化路線を視野に、江戸時代のマスコミ業界の実態に迫る。 以上の目的を達成することにより、当時の歴史的背景を踏まえた上での論理的・批判的思考力を養い、問題発見・解決力を身に付けることを目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-4:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 - 江戸時代における大衆文化の形成過程とその今日的意義を理解し得る能力を習得する。 【行動目標（SB0s）】 - 教員・各種メディア関係者・博物館学芸員・図書館司書等の勤務において、日本文化の特徴を外部に発信できるようになる。 - 日本文化の特徴を教授できるようになる。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 - manaba folio を使ったインタラクティブな添削指導を受ける。 - manaba folio の掲示板機能を利用して、受講者同士で課題図書に関する疑問点の質疑応答・意見交換・情報交換を行う。 【学修方略（LS）】 - 図書館やデータベースを利用して、参考文献を調査し、レポートを作成する（レポート作成）。 【学習時間】 レポート課題1つにつき、最低45時間の学習時間を要する。 - 教材の学習：20時間 - レポート執筆：10時間 - レポートの推敲と最終稿の完成：15時間		
スケジュール	〈前期〉 - レポート課題1・2 締切 初稿 8月末 - 最終稿 前期締切日 〈後期〉 - レポート課題1・2 締切 初稿 12月末 - 最終稿 後期締切日		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	レポートの内容（構成，論旨，引用文献，独創性）：60% 提出状況（期限の順守，初稿から最終稿までの改善度等）：20%
	観察記録	20 %	レポート添削に対する対応等。
履修者への要望	- 学部時代に日本文学を専攻していなくても差し支えない。 - 各図書館や資料館等においては古典籍類のデータベース化や画像公開が飛躍的に進んでおり、積極的に閲覧利用されたい。 - 浮世絵を中心とする江戸時代の絵画，歌舞伎・文楽等の古典芸能に親しむ姿勢を養ってもらいたい。 - レポートでは、出典の明記等、文献類の引用のルールを遵守すること。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 中野三敏監修 教材名： 『江戸の出版』（ペリかん社，2005年）ISBN:978-4-83-151120-1 3,800円+税
	江戸時代の書物は外形など書誌的特徴が内容のある程度規定するといった意味合いがあり、実際に原本を手にとると、また別の親しみと興味が湧いてくるという楽しみがある。現実として通信制の講義では、そうした場が持ちにくいことも事実だが、本書は出版という営為を通して、刊行物の製作・流通を視野に入れた立体的な文化史を構築することを目指した論集である。
参考図書	
履修上のポイント	教材はあくまで江戸時代の本屋・出版、流通のありかたや書誌について書かれたもので、具体的な作品については各自で目を通してもらうことになる。文芸評論や作品評価を求めているわけではなく、当時の書物の製作現場や享受といった文化史的な興味を持ってもらえれば幸いである。
レポート課題1	近世初頭から享保期までの商業出版の変遷について、当時「三都」と称された京都・大坂・江戸の地域的特徴に注目して述べなさい。 留意点： 以下の語を必ず含むこと。：嵯峨本・仮名草子・浮世草子・俳書・正本・武鑑 三都の本屋仲間成立と享保七年の「出版条目」発布には必ず触れること。
レポート課題2	江戸時代における草双紙出版の様相について版元（絵草紙屋）の動向に注目して述べなさい。 留意点： 以下の語を必ず含むこと。：地本・地本問屋・赤本・黒本・青本・黄表紙・合巻・浮世絵「草双紙」以外の戯作に触れる必要はない

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 高田衛・有働裕・佐伯孝弘編集 教材名： 『西鶴と浮世草子研究 vol.2 怪異』（笠間書院，2007年）ISBN:978-4-30-560202-2 2,500円+税
	江戸時代には仮名草子の時代から絵入りの怪異小説集が多数出版されたことで、人々の想像力を大いに刺激した。その結果類話やバリエーションを数多く生み出した。こうした怪談の豊饒さは小泉八雲のような外国人をも魅了したのである。本書は付録CDに怪異物挿絵を収録し検索機能を付しており、視覚的に作品理解を助ける構成となっている。
参考図書	
履修上のポイント	付録CDには、底本とした活字翻刻されたテキストを明記しているので、各自が必要に応じて作品を読むことを希望する。
レポート課題1	西鶴作品の怪談・奇談を最低一話取り上げて、その特質につき自由に論ぜよ。 留意点： 怪談・奇談の範囲は広く解釈して構わない。具体的には『西鶴諸国はなし』や『懷硯』といった雑話物が中心となろうが、好色物中の怪異譚を取り上げても差し支えない。
レポート課題2	西鶴以外の作者による怪談・奇談を最低一話取り上げて、その特質につき自由に論ぜよ。 留意点： 怪談・奇談の範囲は広く解釈してよいが、基本的にはCD収録作品中から選択すること。仮名草子・浮世草子いずれも可。収録作品以外、例えば上田秋成等の初期読本と比較する視点があっても差し支えない。

科目名	日本文化論特講Ⅱ	担当者	ヤマザキ 山崎 マキコ 真紀子	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	-----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	明治期から現代までの近現代文学を学ぶことで、豊かな知識を養い、論理的かつ批判的思考力を涵養することを目的とする。 I. 小説の書かれた時代を理解し、当時の政治・経済・文化の交錯の上に成り立っていることを自ら調べて学ぶことができる。【A-1:4】 II. 小説を読むうえで、断片的な出来事がどのような時間配列のもとで物語が構成されているかを自ら考えることができる。【A-3:4】 III. 日本近現代文学作品をレトリックや表現の緻密さに留意し分析的に読む力を自ら切り開くことができる。【A4:4】 IV. 以上の目的を踏まえて、自らが立論し論文としてまとめることが出来る。【A8:4】		
到達目標	【一般目標 (GIO)】 日本近現代文学作品を書かれている内容を正確に理解し、書かれた時代背景、文化を把握し、なぜその場所、時代、言葉が選ばれているのか一つ一つ丹念に掘り下げて考察することを身につける。それを論文としてまとめられる力を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 多種多様な文学作品に触れることで、語彙力を増やし、人に正確かつ分かりやすく伝えるための言語の力を応用する。(知識) 言葉の配置や文体、比喩を駆使して論理的かつ人を引き付ける文章を書く力を形成する。(技能) 文学作品の解釈を通して異なる考えを持つ他者とコミュニケーションする。(態度)		
学修方略(方法) 【(LS)】と 学修時間	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio のコレクションを利用して、インタラクティブな個別指導を受ける。 ・図書館、インターネットで自立的に論文を検索して、自主研究しレポート作成する。 【学修方略 (LS)】 教材を熟読し、先行研究論文を読み、そのうえで自分の読みのオリジナリティの上に立ち、自らの解釈を論理的に説明するレポートを3000字程度で書いて提出する。添削を受けて完成させる。(自習、自主研究、レポート作成) 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書にある小説を三度繰り返し読む。 準備学修時間：50分 なお、レポート1本あたり以下の学習時間が必要となる。教材の学修：15時間 リポート執筆：15時間 レポート推敲学修（教員の添削指導を含む）：15時間 最終稿の完成：15時間		
スケジュール	前期：教材1のレポート課題（1）締切：6月15日（初稿） 前期締切日（最終稿）。 レポート課題（2）締切：8月15日（初稿） 前期締切日（最終稿）。 後期：教材2のレポート課題（1）締切：11月15日（初稿） 後期締切日（最終稿）。 レポート課題（2）締切：12月20日（初稿） 後期締切日（最終稿）。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材の精読と理解 30% 自らの論説の妥当性と説得力 30% 学術論文としての体裁、適切な引用がなされているか 20%
	観察記録・試験	20 %	メール、manaba 等を活用して、主体的に自らの疑問を解決することができたかどうかを問う試験を行う。 ただし、通年30コマのうち1/5以上欠席相当と判断した場合、成績評価は0～60点とする。また、追・再試験の受験資格は与えない。
履修者への要望	基本教材に掲載されている作品は、なるべく多く繰り返し読むこと。レポート作成にあたっては、先行研究論文を国文学研究資料館のHPやCiniiなどのデータベースを用いて検索して読み、場合によっては公共図書館を活用し資料の入手につとめるなどして、多くの研究論文に目を通しことが望ましい。そのうえで自分が気付いた「発見」を大切に立論し、客観的に論証できるように努める。添削は何度でも受け、完成度の高いものを仕上げてほしい。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 東郷克美・高橋広満編 教材名： 『〈異界〉文学を読む』（鼎書房、2017年2月） ISBN978-4-907282-29-5 2000 円＋税
	〈異界〉をキーワードにして編まれた、15人の作家の短編小説が省略なく全編掲載で載っている。明治20年代から始まる明治期の文学作品、大正期、戦前・戦後の昭和の15編の短編小説を理解しやすいように解説も施され、先行研究リストも記載されている。
参考図書	『日本国語大辞典』（全13巻、小学館、2006年4月）などで、適宜、言葉の意味と用法を調べること。
履修上のポイント	日本近代文学を精緻に読みこなすために作品に多く触れてほしい。教材は優れた短編作品が厳選されているので、何度でも繰り返し読むこと。解説や参考文献リストも参照して理解を深める一助とすること。作品を精読し分析して問題を発見し、それをレポートで表現していくように助言と添削を受けるようにすることが履修上ポイントである。
レポート課題1	教材に掲載されている泉鏡花、永井荷風、佐藤春夫、芥川龍之介、谷崎潤一郎、梶井基次郎の作品の中から1作品を選び、作品にこめられた〈異界〉の意味について2000字～3000字で論じなさい。 留意点： 作品は〈異界〉を通じて、何を表現したかったのかに留意すること。
レポート課題2	教材に掲載されている夢野久作、江戸川乱歩、太宰治、萩原朔太郎、岡本かの子、井伏鱒二、中島敦、川端康成、井上靖の作品の中から1作品を選び、作品にこめられた〈異界〉の意味について3000字～4000字で論じなさい。 留意点： 作品は〈異界〉を通じて、何を表現したかったのか、また語り方にも留意すること。

基 本 教 材 2	
区分	
教材の概要	著者名： 村上春樹 教材名： 『若い読者のための短編小説案内』（文春文庫、2004年10月） ISBN4-16-750207-0 448 円＋税
	戦中に青年期を過ごし、従軍経験を持ち、戦後数年してから作品を発表し始めた「第三の新人」と文学史上言われている吉行淳之介、小島信夫、安岡章太郎、庄野潤三などの小説をアメリカのプリンストン大学で村上春樹が講義した講義録をもとにした小説案内。
参考図書	安岡章太郎『ガラスの靴 悪い仲間』（講談社文芸文庫、2014年12月） 小島信夫『アメリカン・スクール』（新潮文庫、2008年1月） 庄野潤三『撫 静物 庄野潤三初期作品集』愛（講談社文芸文庫、2014年4月） 江藤淳『成熟と喪失 “母”の崩壊』（講談社文芸文庫、1993年10月）
履修上のポイント	日本現代文学を精緻に読みこなすために、作品に多く触れてほしい。教材は戦後（1949年）生まれの村上春樹が「戦後」社会を考えていくうえで、感受性の強い青年期を戦中に過ごし、応召され従軍経験を持つ第三の新人の描いた優れた短編作品に注目して厳選し、その作品の中核を分析している。教材は村上春樹がアメリカの大学院での講義が元になっている。村上春樹がなぜ彼らを選んだのか考察を加えつつ、3人の作家・作品の特徴を捉え、その作品が文学史に残っている意味を十分考察するように留意してほしい。
レポート課題1	安岡章太郎、小島信夫、庄野潤三の作品から一つ選び、戦後社会においてこの作品の持つ意味を2000字～3000字で論じなさい。 留意点： この作品の持つ深層を彫り上げて捉えること。
レポート課題2	教材で取りあげられている『ガラスの靴』『馬』『静物』から一つ選び、戦後社会においてこの作品の持つ意味を「アメリカ」との関係を軸にして3000字～4000字で論じなさい。 留意点： 作中に出てくる〈アメリカの影〉をしっかりと捉えること。

科目名	東アジア文化論特講	担当者	シミズ 清水 トオル 享	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	--------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	多民族国家である中国には漢民族と多様な「少数民族」が居住している。文化人類学はフィールドを出発点として、この中国のさまざまな民族の文化や社会を、多角的な視点から分析研究を進めてきた。本特講ではまず、こうした文化人類学による中国の諸民族の研究がいかになされてきたのか考察する。そして、多くの民族が交錯する雲南省を取り上げ、そのさまざまな民族の歴史の変遷と多様な文化や社会の特徴について考察を進め、理解を深めたい。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 文化人類学がどのように中国の諸民族を研究考察して来たのか。その全体像と中国における文化人類学研究の特徴について把握する。また中国のなかでも、漢民族と「少数民族」が居住する複雑な地域である雲南の歴史、文化、社会の状況について理解する。 【行動目標（SB0s）】“知識・解釈” 本科目を学修することを通じて、自ら学び、世界の現状を理解し、それを述べる力を身につけるとともに、自ら考えて、問題を発見し、その問題を解決し、省察力をもって、説明できるようにする。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング→図書館等を利用し、参考文献を調査してレポートを作成する調査学習。調査学習。基本教材の精読の上、自分の関心のあるテーマを選び、学習を深める。さらに関連文献を参照しながら、この関心のあるテーマに沿ってレポートを作成する。 【学修方略（LS）】 テーマの選定から、関連文献の選び方、章立てや草稿など、段階的に担当者とやり取りを進めながらレポートを作成する。教材学修に 10 時間、レポート執筆に 10 時間、教員の添削指導を含めたレポート添削に 15 時間をかけることを目安とする。 【学習時間】 45 時間		
スケジュール	前期は基本教材 1 のレポート課題 2 編を 9 月 19 日までに提出のこと。 後期は基本教材 2 のレポート課題 2 編を 1 月 14 日までに提出のこと。 前後期ともに早めにテーマの選定から、関連文献の選び方、章立てや草稿についてできるだけ早めに担当者とやり取りをはじめ、初稿は前後期ともに提出期限の 2 週間前までに提出のこと。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材の理解、レポート課題選定および内容の妥当性を評価。
	観察評価	20%	レポート作成に向けての課題の取り組み方やその課題解決への積極性などを評価。
履修者への要望	履修者は積極的に課題に取り組んでほしい。基本教材を精読することはもちろんのこと、基本教材以外の関連文献も、より多く参照し、精読した上でレポートを作成してほしい。このレポートをステップとして修士論文作成に取り組めるようにしてほしい。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 瀬川昌久、西沢晴彦編訳 教材名： 『中国文化人類学リーディングス』（風響社、2006 年） ISBN4-89489-041-0 3,000 円＋税
	本教材は中国における文化人類学研究で重要であると考えられている論考をまとめたものである。ラドクリフ＝ブラウン、レイモンド・ファース、費孝通、マリノフスキー、フリードマン、スキナー、林耀華、エブリー、ワトソン、陳其南、ウォード、ハレルといった錚々とした先達の論考が掲載されている。
参考図書	末成道男編『中国文化人類学解題』（東京大学出版会、1995 年）ISBN978-4-13-056046-7 末成道男・曾士才編『世界の先住民族―ファースト・ピープルズの現在 01 東アジア』（明石書店 2005 年）
履修上のポイント	序論やあとがきもしっかりと精読し、さらに各論考を通読すること。その上でそれぞれの論考を一編あるいは複数精読し、中国における文化人類学の研究の動向や問題点を把握し、考察すること。また各論考末に挙げられている参考文献も適宜参照して考察を進めてほしい。
レポート課題 1	中国における文化人類学研究の動向と課題について(その 1) 留意点： レポートのテーマは各自が設定すること。テーマは教材内の各論考を参考にして設定し、考察すること。
レポート課題 2	中国における文化人類学研究の動向と課題について(その 2) 留意点： レポートのテーマは各自が設定すること。テーマは教材内の各論考を参考にして設定し、考察すること。レポート課題 1 とは別にテーマを設定すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 川野明正著 教材名： 『雲南の歴史―アジア十字路に交錯する多民族世界』（白水社、2013 年） ISBN:978-4-86398-118-8 1800 円＋税
	本教材は漢族と「少数民族」が混在雑居する中国雲南に関する歴史を簡潔にまとめたものである。教材の中では歴史のみならず、「少数民族」の文化や社会についても言及している。
参考図書	石島紀之著『雲南と近代中国―周辺の見点から』（青木書店、2004 年）ISBN4-250-20405-7
履修上のポイント	本教材を精読した上で、巻末にあげられている参考文献を参照し、雲南省に居住する「少数民族」の歴史や雲南省の歴史について理解を深めて、考察を進めてほしい。雲南省のさまざまな民族の文化、社会、歴史の多様性、複雑性や外部世界とのつながりを考えた上で、レポートを作成してほしい。
レポート課題 1	雲南省の「少数民族」の歴史について 留意点： 雲南省の「少数民族」の一つを取り上げ、その歴史をレポートすること。もちろん教材以外の多くの参考文献を参照しつつレポートを作成すること。
レポート課題 2	雲南省のさまざまな時代の状況について 留意点： 雲南省の古代から現代までの状況について、一時代をピックアップしてレポートすること。例えば古代の「滇国」、「爨氏の時代」「南詔」、「大理」、元代、明代、清代、近代などをテーマとして取り上げてレポートを作成すること。

科目名	中国語圏文化論特講	担当者	ゴ セン 呉 川	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	-------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	本特講では、日本との比較対照を視野に入れながら、中国語圏のことばの特徴を考え、中国を中心とする中国語圏のことばと文化の関わりを新語・流行語を含む様々な角度から考察・検証し、中国語圏のことばと文化に対する理解や研究を深めることを目的とする。 以上の目的を達成することにより、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、挑戦力、省察力を身に付けることを目指す。		
到達目標	【一般目標（GIO）】 中国語のことばと文化に対する理解度や研究レベルが高まるようにする。 【行動目標（SB0s）】 1) 修士論文作成に必要な先行研究の文献を把握し、それぞれの分野の研究の進め方について理解し、遂行できるようになる。 2) 文化的意味を持つ俗語・慣用語・ことわざ、時代とともに変わる新語・流行語について考察し中国のことばと文化に対する理解を深める。		
学修方略（方法） 【LS】と 学修時間	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manabafolio を使ったインタラクティブな添削指導を受ける。 ・manabafolio の掲示板機能を利用して、課題図書に関する疑問点の質疑応答・意見交換を行う。 ・manabafolio の全受講者用の掲示板機能を利用して、受講者同士で情報交換を行う。 ・manabafolio の全受講者用の掲示板機能を利用して、レポートの推敲課程において、受講者が互いのレポートについてアドバイス行う（ピアレスポンスを行う）。 【学修方略（LS）】 電子データや図書館を利用して、参考文献を調査し、自らレポートを作成したうえ、担当教員と意見交換・質疑応答・添削によってよりレベルの高いものに仕上げていく。 【学修時間】 レポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：15 時間 レポート執筆：15 時間 レポート推敲(教員の添削指導を含む)・最終稿の完成：15 時間		
スケジュール	1) 前期：基本教材 1 を精読し、参考図書等を参考して〆切日までにレポート課題 1 を提出。 2) 後期：基本教材 2 を精読し、参考図書等を参考して〆切日までにレポート課題 2 を提出。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	課題レポートの内容(論旨，構成，独創性)を重視する。
	平常評価	20%	スクーリング授業やゼミの出席も評価の対象になる。
履修者への要望	可能な限り中国語で書かれた研究書や文献も合わせて読むことが望ましい。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 上野恵司 教材名： 『ことばの周辺—中国語 72 話(新版)』(白帝社, 2007 年) ISBN：978-4-89-174873-9 1,600 円＋税
	本書はことばと文化のエッセーであるが、ことばの周辺に広がる異文化の世界が見えてくる。
参考図書	上野恵司『ことばの文化背景—中国語 51 話』(白帝社, 1997 年) ISBN：978-4-89-174323-9 1,600 円＋税
履修上のポイント	基本教材を熟読してほしい。そして、中国語という言葉を通して、中国の文化・社会との関わりを考察し、中国語圏の文化の特徴を理解・把握してほしい。
レポート課題 1	中国語圏の言葉と文化・社会の関係について分析し、論じなさい。 留意点： 中国語圏の言葉にみる文化的・社会的事象を取り上げ、分析・考察する。
レポート課題 2	日中共通の語彙にみる文化的な相違について考察し、論じなさい。 留意点： 日中同形異義語や同じ漢字を用いながら、意味や用法の異なる言葉に焦点を当て、その文化的背景や発想の違いに注目してほしい。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 中文礎雄 教材名： 『中国のことばと文化・社会』(時潮社, 2006 年) ISBN：978-4-78-880607-8 3,500 円＋税
	中国のことばと中国の文化・社会との関わりを考察する研究書である。新語・流行語、ざれ歌から社会の激変ぶりを知ることができる。
参考図書	宇野和夫・呉川『中日辞典新語・情報篇』(小学館, 2008 年) ISBN：978-4-09-515603-3 3,800 円＋税
履修上のポイント	ことばは時代とともに変化するものである。目まぐるしく激動している現代中国においても多くの分野から新語や流行語がどんどん生み出されてくる。常に最新の動向に注目し、できるだけ新しいデータを収集したうえで分析を行ったほうがよい。
レポート課題 1	新語の出現とその文化的・社会的意義について論じなさい。 留意点： 中国語圏の新語や流行語を分野別に整理しながら、新語形成のプロセスについて考察することが望ましい。
レポート課題 2	中国語圏のことばと文化の、日本との相違点について論じなさい。 留意点： 色彩語のイメージ、動物のイメージ、食文化に関わる表現、身体に関連する表現、タブーの表現、人名・地名の文化的意味、宗教に関わる表現など、さまざまな内容から一つ絞って、副題をつけて論じたほうがよい。

科目名	ヨーロッパ言語圏 文化論特講	担当者	アキクサ 秋草 シユンイチロウ 俊 一郎	期間	通年	単位数	4
-----	-------------------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	欧米における文学・文化の潮流を理解するために「世界文学」の考え方を学ぶ。また、人文学全般の思考の枠組みを理解するために、現在の欧米圏の学術書の文献の水準を理解できるようになることを目標とする。以上を達成することにより、狭義の文学・文化のみならず、その流通や出版、さらには論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、省察力を身に付けることを目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:1, A-2:2, A-3:3, A-4:4, A-5:4, A-6:4, A-7:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 現在、重要な潮流である世界文学について理解し、それがどのようなディシプリンとして構成されているのか知ること。またレポートの文章表現も、内容にふさわしい高いレベルを達成すること。 【行動目標（SB0s）】 論文を書く上で必要な学術的な用語を正確に使えるようになること。理論書・文芸作品を精読し、自分のことばで分析できるようになること。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 インタラクティブなレポート提出システム manaba を用いる。 【学修方略（LS）】 自主研究。教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては、草稿から最終稿に至るまで、履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。 【学修時間】 各レポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：15 時間 レポート執筆：15 時間 レポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15 時間		
スケジュール	前期：6 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1) 初稿を提出。 7 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1) 最終稿を提出。 8 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(2) 初稿を提出。 9 月 19 日までに教材 1 のレポート課題(2) 最終稿を提出。 後期：10 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1) 初稿を提出。 11 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1) 最終稿を提出。 12 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(2) 初稿を提出。 2020 年 1 月 14 日までに教材 2 のレポート課題(2) 最終稿を提出。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材を精読理解し、課題に応える内容となっているか、また、学術論文の体裁が整っているか評価する。
	観察記録	20 %	メール、manaba 等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	・基本教材 1 のレポートは、初稿から最終稿にいたるまで、教師のフィードバック・相互学習による推敲、最終稿の完成と段階的に進めること。上述したレポートの提出が遅れた場合は、成績が低くなることに留意すること。引用については盗用にならないように重々注意すること（悪質な場合は単位が取得できなくなる）。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： デイヴィッド・ダムロッシュ 教材名： 『世界文学とは何か？』（国書刊行会，2011） ISBN:978-4-33-605362-6 5,600 円＋税
	「世界文学」という概念を，現代のアメリカの文脈で論じたもので，時代・地域・言語もさまざまな表現活動を「生産・流通・翻訳」という三つの観点から分析している。
参考図書	秋草俊一郎編『文学 特集「世界文学」の語り方』（岩波書店，2016 年 10 月号） ISSN: 0389-4029 2,700 円＋税
履修上のポイント	21 世紀において，文学や表現活動を論じるうえでの問題意識はなんなのか。論者が「世界文学」と言うとき，前提とされている歴史的な問題はなんなのか，考えてみてほしい。
レポート課題 1	『世界文学とは何か？』における文化・文学の「流通」，「翻訳」，「生産」の考え方について説明したうえで，ひとつ以上の章をとりあげて要約しなさい。説明と要約は自分のことばで行い，教材の丸写しをさけること。説明と要約はそれぞれ 800 字以内程度におさめること。 留意点： 従来の「世界文学」とどう異なるのか確認しつつ検証し，具体的に論述すること。
レポート課題 2	課題図書のアプローチを参考にして，具体的な一つ以上の作品について論じなさい。参考文献・注・引用をのぞいた本文 3,500 字以上とする。出典の記載方法は問わないが，出版社・出版年・引用頁数がわかるようにすること 留意点： 従来の「世界文学」とどう異なるのか確認しつつ検証し，具体的に論述すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： フランコ・モレッティ 教材名： 『遠読——＜世界文学システム＞への挑戦』 （みすず書房，2016） ISBN-13: 978-4874246733 4,600 円＋税
	現代において文学を論じるうえで，ひとつの作品を丁寧に時間をかけて読む「精読」ではなく，統計や二次資料などを活用した「遠読」という新しい手法を提唱している。
参考図書	パスカル・カザノヴァ『世界文学空間』（藤原書店，2002）ISBN: 978-4894343139 8,800 円＋税
履修上のポイント	21 世紀において，文学や表現活動を論じるうえでの問題意識はなんなのか。論者が精読にたいして「遠読」と言うとき，前提とされている歴史的な問題はなんなのか，考えてみてほしい。
レポート課題 1	『遠読』における「遠読」の考え方について説明したうえで，ひとつ以上の章をとりあげて要約しなさい。説明と要約は自分のことばで行い，教材の丸写しをさけること。説明と要約はそれぞれ 800 字以内程度におさめること。 留意点： 従来の「精読」とどう異なるのか確認しつつ検証し，具体的に論述すること。
レポート課題 2	課題図書のアプローチを参考にして，具体的な作品（複数、あるいはその一部）について論じなさい。参考文献・注・引用をのぞいた本文 3,500 字以上とする。出典の記載方法は問わないが，出版社・出版年・引用頁数がわかるようにすること。 留意点： 従来の「精読」とどう異なるのか確認しつつ検証し，具体的に論述すること。

科目名	英語圏文化論特講	担当者	アキクサ 秋 草 シュンイチロウ 俊 一 郎	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	---------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	文芸翻訳実践演習。現代アメリカの作家のごく短い短編を、前期と後期で一編ずつ訳していく。邦訳のない作品を選ぶので、ある程度の覚悟をもって臨んでほしい。文学研究プロパー以外の受講を歓迎するが、扱う作家のほかの邦訳済みの作品を自分で読んでみるなど、文体について研究してみること。あたりまえだが、たんなる英文和訳ではなく、「小説」として読むにたえるレベルのものを目標してほしい。 以上を達成することにより、外国語の運用能力、辞書や事典などを活用した調査力、論理的・批判的思考能力をはじめ、高度な文章力、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、省察力を身につけることを目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-2:4, A-3:4, A-4:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 英文和訳と文芸翻訳の違いを理解する。現代アメリカの小説に親しむ。 【行動目標（SB0s）】 作家特有の文体を認識し、日本語に置きかえることができるようになること。適切な辞書・事典など資料を活用できるようになること。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 インタラクティブなレポート提出システム manaba を用いる。学習者の数によってはピアレビューを用いる。 【学修方略（LS）】 自主研究。教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては、草稿から最終稿に至るまで、履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。 【学修時間】 各レポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：15 時間 リポート執筆：15 時間 リポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15 時間		
スケジュール	前期：6 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1)初稿を提出。 7 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(1)最終稿を提出。 8 月 10 日までに教材 1 のレポート課題(2)初稿を提出。 9 月 19 日までに教材 1 のレポート課題(2)最終稿を提出。 後期：10 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1)初稿を提出。 11 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(1)最終稿を提出。 12 月 10 日までに教材 2 のレポート課題(2)初稿を提出。 2020 年 1 月 14 日までに教材 2 のレポート課題(2)最終稿を提出。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材を精読理解し、課題に応える内容となっているか、また、文芸翻訳として通用するか評価する。
	観察記録	20 %	メール、manaba、ゼミ等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	レポート作成は修士論文執筆のための重要な準備である。教材を熟読し、可能な範囲で関係資料を参考にして課題にとりくむこと。manaba のコミュニティや掲示板でのディスカッションなど、積極的な参加を求める。例年、課題 2 に対していい加減な態度で接する学生が多い。辞書を引いていない、推敲不足と判断した場合、学生の怠慢と見なし、履修中止を求めることもある。受講者の要望によっては追加の課題を課すこともある。その場合、教材については相談にのるが、外国語書籍の入手方など、今のうちに習熟してほしい。「文芸」翻訳の授業であるので、課題の作品に興味がなく、英語学習だけを目的とした学生にはすすめられない。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 著者名：Charles Bukowski 教材名： 教材名：Betting on the Muse: Poems & Stories ISBN: 978-1574230024
	著者チャールズ・ブコウスキー（1920—1994）はカリフォルニアを中心に活動した詩人・作家。酒と女を好み、学校システムからドロップアウトしてその日暮らしの生活をおくった自分の実人生を題材にした作品をおおく書いた。
参考図書	チャールズ・ブコウスキー『くそつたれ！少年時代』（河出文庫） チャールズ・ブコウスキー『町でいちばんの美女』（新潮社）
履修上のポイント	教材は amazon.co.jp などで購入できる（kindle 版でももちろん可）。ブコウスキーの一見荒っぽいのが、繊細な言葉遣いを、それなりの雰囲気ですすめ、上記にあげた既訳を大いに参考にしたい。最終稿の二週間前にドラフトを manaba に提出し、受講生同士でピアレビューののち、最終稿を提出すること（ただし、受講者の人数によっては教員がドラフトも添削する）。
レポート課題 1	短編 “My Madness” の前半（p. 334 から p. 335 の上から四行目）までを訳しなさい。 留意点： 小説として読めるように訳しなさい。
レポート課題 2	短編 “My Madness” の後半（p. 335 の上から五行目から p. 336）までを訳しなさい。 留意点： 小説として読めるように訳しなさい。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 著者名：Aleksandar Hemon 教材名： 教材名：The Book of My Lives ISBN: 978-1250043542
	著者アレクサンドル・ヘモン（1964—）はサラエヴォ出身の作家。1992 年のシゴ滞在中にボスニア紛争が勃発し、アメリカに移住し、英語作家として作品を発表するようになる。
参考図書	アレクサンドル・ヘモン『ノーホエア・マン』（白水社） アレクサンドル・ヘモン『愛と障害』（白水社）
履修上のポイント	教材は amazon.co.jp などで購入できる（kindle 版でももちろん可能）。ヘモンは英語の母語話者ではなく、ブコウスキーにくらべて癖はないが、正確に訳するためにはボスニア紛争についての背景知識も必要。最終稿の二週間前にドラフトを manaba に提出し、受講生同士でピアレビューののち、最終稿を提出すること（ただし、受講者の人数によっては教員がドラフトも添削する）。
レポート課題 1	短編 “The Book of My Life” の前半（p. 97 から p. 99 の上から七行目）までを訳しなさい。 留意点： 小説として読めるように訳しなさい。
レポート課題 2	短編 “The Book of My Life” の後半（p. 99 の上から八行目から p. 101）までを訳しなさい。 留意点： 小説として読めるように訳しなさい。

科目名	児童文学特講	担当者	イノ猪野 ケイヤ恵也	期間	通年	単位数	4
-----	--------	-----	------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	本科目は、まずリリアン・H・スミスの名著『児童文学論』を精読し、ジャンルなど児童文学について理解する。そして 20 世紀半ばに発表されたファンタジー文学のうち、子どもも読めるということで児童文学と言ってもよい C. S. Lewis の <i>The Chronicles of Narnia</i> を解説する。 物語中に登場する多様な登場人物において明示される性格、思想、価値観を考察することにより各人の自己理解を深めるとともに、想像力、推察力、洞察力を鍛え、とりわけ想像力を活性化させる。 [A-1:2] 物事に対する個々の意識を高め、多様な価値観を理解しかつ受容し、知識人として自己確立することを目的とする。[A-1:3] 以上の目的を達成することにより、想像力の飛翔、豊かな知識と倫理観を滋養するとともに、論理的、批評的思考能力をはじめ、問題発見及び解決力、想像力、洞察力を身につけることを目指す [A-1:4]		
到達目標	【一般目標 (GIO)】 リリアン・H・スミスの『児童文学論』及び C. S. Lewis の <i>The Chronicles of Narnia</i> を精読し、児童文学の歴史とジャンル、すぐれた児童文学作品を具体的に読むことにより、想像力を滋養する。 【行動目標 (SB0s)】 すぐれた児童文学とはなんであるかを自分の言葉で記述でき、子どもたちの成長段階に合わせた作品を選択する力を形成し、子どもたちにコミュニケーションができるようになること。		
学修方略 (方法)	【学習時間】 各リポート課題の準備から完成までに以下を目安に裁定 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修:15 時間 リポート執筆:15 時間 リポート推敲(教員による添削指導を含む)、最終稿の完成:15 時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folio を使ったインタラクティブな添削指導を受ける。 【学修方略 (LS)】 教材及び関連資料を精読した上で全力で課題に取り組む。リポート作成については草稿から最終稿まで履修者と担当教員の間でやりとりを行い、着実に進める。		
スケジュール	課題リポートは前期、後期の定められた期間内に提出すること(前期 9 月 19 日まで、後期 1 月 14 日まで)。ただし、履修者は課題リポート草稿の添削を複数回受け、担当者の了解を得た後に最終稿を提出することとする。初稿の締切は前期 6 月末日、後期 10 月末日とする。 前期、後期課題リポート提出の順序 ①課題リポート作成のための準備作業(教材精読、担当者との質疑応答、資料収集等を含む) ②課題リポート草稿を作成しリポートシステムに投稿。 ③教員からの添削ファイルないしコメントを受領し、第二草稿を作成しリポートシステムに投稿。このやりとりが何回かつづく。 ④担当者による最終稿の認定を受け、課題リポート提出完了。 前期 リポート課題 1 締切 6 月末(初稿) 前期締切日(最終稿) リポート課題 2 締切 8 月末(初稿) 前期締切日(最終稿) 後期 リポート課題 1 締切 10 月末(初稿) 後期締切日(最終稿) リポート課題 2 締切 12 月末(初稿) 後期締切日(最終稿)		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	リポート	100%	リポート課題の理解、論旨の明快さ、表現的的確さ、内容の豊かさ、註の付け方について総合的に評価する。
	平常評価		
履修者への要望	・リポート執筆作業は修士論文作成の練習をも兼ねるので、各自の修士論文テーマに関連した先行研究および参考文献の調査方法を会得すること。 ・リポート課題を読み間違えないように再確認して草稿を準備すること		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： リリアン・H・スミス 教材名： 『児童文学論』（岩波現代文庫、2016 年） ISBN: 978-4-00-602282-2, 1,340 円+税 著者名： C.S.Lewis 教材名 <i>The Chronicles of Narnia</i> HarperCollins Publishers 2001 年 ISBN: 978-0066238500 2,946 円
	『児童文学論』は 20 世紀半ば頃にシカゴのアメリカ図書館協会から出版された児童文学文学論であるが、数々のすぐれた児童文学論の中にあっても、いまだにその輝きを失っていない名著である。本書を精読することで児童文学に関連する基本的かつ重要事項を把握することができるであろう。 <i>The Chronicles of Narnia</i> は 20 世紀に書かれたもっともすぐれた連作ファンタジーである。本書を精読することでルイスの構築したファンタジー世界の特徴が明らかになるであろうし、人として生きるとはどういうことであるかを楽しみながら学ぶことになるであろう。
参考図書	竹野一雄著 『C.S.ルイス歓びの扉 ―信仰と想像力の文学世界』（岩波書店、2012 年） ISBN:978-4-00-025871-5 2,800 円+税 Chad Walsh, <i>The Literary Legacy of C.S.Lewis</i> , Sheldon Press, 1979. ISBN:0-85969-289-2 3,531 円+税
履修上のポイント	『児童文学論』をよく精読し、児童文学の概念やジャンルなどをよく理解する。 <i>The Chronicles of Narnia</i> における英語をよく精読し、物語全体の枠組み及びアスランの言葉と行為が聖書とどのように関連しているか考えてみる。また様々な物語技法(多様な対照、昔話の手法の援用、反復増補的提示、謎解きの要素、色と音のシンボリズム、劇的アイロニー)にも留意して読むこと。
レポート課題 1	『児童文学論』第 1 章から第 6 章を要約し、私見を述べよ。 (40×40 行) 3.3 から 3.5 枚=4,800 字から 5,600 字 留意点：章ごとの要約に過度の長短がないようにし、「私見」は具体的な内容にする。
レポート課題 2	<i>The Chronicles of Narnia</i> における <i>The Magician's Nephew</i>, <i>The Lion, the Witch and the Wardrobe</i>, <i>The Horse and His Boy</i>, を精読し、ナルニア論またはアスラン論をまとめよ。 (40×40 行) 3.3 から 3.5 枚=4,800 字から 5,600 字 留意点：アスランと子どもたちの性格描写、物語内容と構造、主題、技法を論じる。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： リリアン・H・スミス 教材名： 『児童文学論』（岩波現代文庫、2016 年） ISBN: 978-4-00-602282-2, 1,340 円+税 著者名： C.S.Lewis 教材名 <i>The Chronicles of Narnia</i> HarperCollins Publishers 2001 年 ISBN: 978-0066238500 2,946 円
	『児童文学論』は 20 世紀半ば頃にシカゴのアメリカ図書館協会から出版された児童文学文学論であるが、数々のすぐれた児童文学論の中にあっても、いまだにその輝きを失っていない名著である。本書を精読することで児童文学に関連する基本的かつ重要事項を把握することができるであろう。 <i>The Chronicles of Narnia</i> は 20 世紀に書かれたもっともすぐれた連作ファンタジーである。本書を精読することでルイスの構築したファンタジー世界の特徴が明らかになるであろうし、人として生きるとはどういうことであるかを楽しみながら学ぶことになるであろう。
参考図書	定松正『英米児童文学の系譜』（こびあん書房、1993 年） ISBN:978-4-87-558039 2,816 円+税 本多英明編 『英米児童文学の宇宙』（ミネルヴァ書房、2002 年） ISBN:978-4-62-303592-2 3,000 円+税
履修上のポイント	『児童文学論』をよく精読し、児童文学の概念やジャンルなどをよく理解する。 <i>The Chronicles of Narnia</i> における英語をよく精読し、物語全体の枠組み及びアスランの言葉と行為が聖書とどのように関連しているか考えてみる。また様々な物語技法(多様な対照、昔話の手法の援用、反復増補的提示、謎解きの要素、色と音のシンボリズム、劇的アイロニー)にも留意して読むこと。
レポート課題 1	『児童文学論』第 7 章から第 12 章を要約し、私見を述べよ。 (40×40 行) 3.3 から 3.5 枚=4,800 字から 5,600 字 留意点：章ごとの要約に過度の長短がないようにし、「私見」は具体的な内容にする。
レポート課題 2	<i>The Chronicles of Narnia</i> における <i>Prince Captain</i>, <i>The Voyage of the Dawn Treader</i>, <i>The Silver Chair</i>, <i>The Last Battle</i>, を精読し、ナルニア論またはアスラン論をまとめよ。 (40×40 行) 3.3 から 3.5 枚=4,800 字から 5,600 字 留意点：アスランと子どもたちの性格描写、物語内容と構造、主題、技法を論じる。

科目名	言語教育学特講	担当者	オオカワ ヒデアキ 大川 英明	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	本講座では第二言語習得研究における語用論と中間言語に重点を置いた研究成果についての理解を深め、更に応用する能力や考察する能力を養うことを目的とする。中間言語語用論や異文化間語用論の研究は外国語の指導に直接関連のある多くのテーマを扱っているものの、研究結果が必ずしも外国語学教育に組み入れられてはいない。この乖離を縮めるための教材について考えることにより、語用論や中間言語の枠組みからの外国語教育や異文化理解・教育のための応用力を身につけることを目的とする。さらに、自ら論文を探し、理解し、批判する力を養成する。同時に、レポート作成を通して研究者としての倫理観を身につける。 以上の目的を達成することにより、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、挑戦力、省察力を身に付けることを目指す 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 語用論的指導や学習に関する基礎知識を理解し、言語と文化の関連事項を含め、語用論的な指導に関する中心的な概念を学び、活用する能力を修得する。 【行動目標（SB0s）】 ・語用論の基礎的な概念を理解し、外国語学習の教材分析、改善案が説明できる。 ・外国語の教科書を補うための一手段としての語用論的指導に応用できる。 ・実際の論文を読むことにより、分析方法や論文の書き方を理解する。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio を使ったインタラクティブな添削指導を受ける。 ・図書館やインターネット、等を利用し、研究論文を選び、自主研究に基づき、レポートを作成する。 ・日本語または英語の教科書等を自ら選択し、その分析を行う。 【学修方略（LS）】 ・指定教材を理解した上で、レポートを作成することにより、理解、分析し、論考を表現する。 ・指定教材を理解した上で、実際の外国語の教科書分析を行い、改善点を提案する。 ・関連する論文を読み、論文の書き方、分析の仕方を学び、さらに論文を批判的に分析する。 【学習時間】 レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。 ・教材の学修、論文選択、分析すべき外国語教材選択：20 時間 ・レポート執筆：15 時間 ・レポート推敲と最終稿の完成：10 時間		
スケジュール	<前期> レポート課題1 締切： 6月15日（初稿）・前期締切日（最終稿） レポート課題2 締切： 8月31日（初稿）・前期締切日（最終稿） <後期> レポート課題1 締切： 10月31日（初稿）・後期締切日（最終稿） レポート課題2 締切： 12月20日（初稿）・後期締切日（最終稿）		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	1) 教材・論文の理解度 2) 分析力 3) 論理的展開 4) 論文の書き方 前期レポート課題1, 2と後期レポート課題1は最終稿で評価する。 後期レポート課題2は最終試験として初稿で評価する。
	観察記録	20%	1) レポートの提出期限の厳守 2) レポート添削への対応等
履修者への要望	①大学レベルの言語学を履修しているか、またはレポートを書き始めるまでにそのレベルの知識を得ておくことを前提とする。特に、音声学、音韻論、語彙論、統語論、社会言語学等の基礎的な知識があること。例として次のような書籍の内容を理解していること：斎藤純男（著）『言語学入門』（三省堂）、中島平三・外池滋生（著）『言語学への招待』（大修館書店）、瀬田幸人、他（編・著）『入門 ことばの世界』（大修館書店） ②第1回目のレポートの準備を始める前に <u>担当教員にメールを送り、レポートの書式などの情報を得ること。</u> （ookawa.hideaki@nihon-u.ac.jp） ③研究論文を選択する際に、選択が許容範囲かどうか確信がない場合には、教員に相談すること。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 石原 紀子【編著】・コーエン, アンドリュー・D.【著】 教材名： 『多文化理解の語学教育—語用論的指導への招待』（研究社，2015） ISBN:978-4-32-737738-0 3,500 円+税
	本書は語学教育における語用論の理論と実践を結びつける試みを目指している。多文化間コミュニケーションに必要な能力として語用論の能力があり，語学教育でもその重要性が唱えられている。本書は語用論や第二言語習得理論の紹介にとどまらず，理論を言語指導の実践に取り入れる具体的な指導法を提案している。
参考図書	今井邦彦『語用論への招待』（大修館書店，2001） ISBN: 978-4469212648 2,200 円+税
履修上のポイント	教材を通して，語用論の基本的な概念を理解し，その第二言語習得における応用性について理解する。また，教育現場への応用，教科書への応用等も学ぶことになる。前期の取り組みは後期のレポート作成の準備となるように基礎を築くとともに，興味のある話題の論文を探し始めることを希望する。
レポート課題 1	①次の語用論の各基本概念を自分の言葉でまとめなさい：1.「発語内行為（illocutionary act）と発語媒介行為（perlocutionary act）」2.「グライスの協調の原理（cooperative principle）と会話の格率（conversational maxims）」（1,500 字程度。参考にした文献のリストを付けること。） ②教材の第Ⅰ部（第1章～第5章）を読み，著者の説明や主張の要点理解し，自分の言葉で説明しなさい。（3,000～4,000 字） 留意点： 特定の研究について言及する時に元の例文が必要になる場合を除き，説明のための例文は自分が作ったものを含めること。
レポート課題 2	教材の第Ⅱ～Ⅲ部（第6章～第12章）を理解したうえで，扱われている内容に関連する研究論文の一つを選び（CiNii で検索可），その主張の要点を自分の言葉で紹介しつつ，自らの批判や反論を提示し，さらに改善案を説明しなさい。（3,000～4,000 字） 留意点： 研究論文は学会誌，大学・研究機関の紀要，等に掲載されている論文で 10 ページ程度のものを選ぶこと。扱う論文がインターネットで公開されていない場合には，PDF 化してレポートとともに提出すること。論文の選択に不安がある場合は担当教員に相談すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 清水 崇文 教材名： 『中間言語語用論概論—第二言語学習者の語用論的能力の使用・習得・教育』（スリーエーネットワーク，2009） ISBN:978-4-88-319513-8 2,000 円+税
	本書は「語用論」の諸側面に焦点を当て，中間言語語用論の様々な研究によってこれまで明らかにされてきた成果を整理している。実際に言葉を使う状況や場面，相手との人間関係などに照らして適切な言い方を用いる能力に関する「中間言語語用論」について研究成果をまとめ，さらに教育への応用の仕方を提示している。
参考図書	今井邦彦『言語理論としての語用論』（開拓社，2015） ISBN: 978-4758925501 1,900 円+税
履修上のポイント	前期の知識を基に，中間言語語用論で用いられる研究方法，特にデータ収集の方法や異文化間語用論，理解と産出の両側面から学習者の語用論的知識の使用，語用論的能力の習得・発達，等について学ぶが，レポートは基本を押さえた上での分析が必要になるので，応用を意識しながら教材から学ぶことが肝要である。
レポート課題 1	前期の教材を基礎に，後期の教材である清水(2009)を理解したうえで，第二言語学習者のための語学の教科書を選び，語用論の成果を生かした具体的な改善案を提案しなさい。（3,000～4,000 字） 留意点： 分析対象の教科書は日本語学習か英語学習用とする。分析対象のページ数が多くなければ，PDF 化したものも提出すること。
レポート課題 2	基本教材 2 が扱うテーマに関連する研究論文を選び（CiNii で検索可），その主張の要点を自分の言葉で紹介しつつ，自らの批判や反論を提示し，改善案を説明しなさい。（3,000～4,000 字） 留意点： 研究論文は学会誌，大学・研究機関の紀要，等に掲載されている論文で 10 ページ程度のものを選ぶこと。扱う論文がインターネットで公開されていない場合には，PDF 化してレポートとともに提出すること。論文の選択に不安がある場合は担当教員に相談すること。

科目名	言語学特講	担当者	ホサカ 保坂 ミチオ 道雄	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	本講座では、英語と日本語の言語事実を比較・対照しながら、両言語の奥に潜む普遍的原理を、生成文法と機能的統語論の理論に基づき、探求するものである。特に、生成文法と機能的統語論が何を指し、現在の言語研究にいかなる貢献をなしてきたかを、日英語の言語データを通じて実証的に検証し、言語研究の奥深さを学んでいただきたい。あわせて、国語である日本語の構造と英語の構造を比較学習することも目指す。また、国語科の学校文法が依拠する橋本文法等の日本語文法理論を再検討することも目的の1つとする。 以上の目的を達成することにより、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、挑戦力、省察力を身に付けることを目指す。 【日本大学教育憲章ループリック：A-1:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-6:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 言語研究の基本的方法を、日本語と英語の言語現象の比較を通して、実践的に学び、修得することを目指す。 【行動目標（SB0s）】 ・日英語の語法・文法・意味についての基本的知識を修得する。 ・生成文法による文構造の分析方法を修得する。 ・機能的統語論による談話構造の分析方法を修得する。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学習媒体等】 ・manaba folio を使ったインタラクティブな添削指導を実施する。 ・manaba folio の掲示板機能を利用して、課題図書等に関する疑問点の質疑応答・意見交換を行う。 ・図書館を利用して、参考文献を調査し、レポートを作成する。 【学修方略（LS）】 まず、第一にテキストを精読し、その内容を十分に吟味し、理解した事柄を、自らの言葉で表現できることが大切である。また、その際、単なる内容のまとめではなく、その理解を深めるために、言語事実をよく観察し、テキスト外の言語事象にも目を配り、理解した内容を応用できる力を身につけてもらいたい。（自習、自主的研究、レポート作成、ディベート） 【学修時間】 レポート1本につき準備から完成まで、以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。 ・教材の学修：15時間 ・レポート執筆：15時間 ・レポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15時間		
スケジュール	各テキストの内容に従って勉強を進め、レポート課題が済み次第、速やかに提出し、manaba folio を使ったインタラクティブな添削指導を受けることとする。レポート提出期限の1ヶ月前までに必ず初稿を提出すること。なお、各レポート課題の最終提出前に、2回以上の指導を受ける必要がある。レポート最終提出期限は前期・後期締切日とする。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	60 %	最終提出レポートの評価
	観察記録	40 %	事前提出レポートに関する評価
履修者への要望	できるだけ早めにレポートの草稿を提出できるように心掛けて下さい。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 岸本秀樹 教材名： 『ベーシック生成文法』（ひつじ書房，2009 年） ISBN:978-4-89-476426-2 1,600 円+税
	「人間は生まれた時から言語を獲得するシステムを内在している」という仮説が 20 世紀半ばに提唱されて以来、言語の研究は本格的な科学へと発展してきた。本教材では、日英語において日常的に観察される言語データを用いて、生成文法がどのような見方で言語をとらえるかが詳しく解説されており、本教材を通して、ことばを科学的に分析する方法について学んで頂きたい。
参考図書	中村捷・金子義明・菊池朗『生成文法の新展開』（研究社，2001 年） ISBN:978-4-32-742155-7, 3,000 円+税 福井直樹『新・自然科学としての言語学ー生成文法とは何か』（筑摩書房，2012 年） ISBN:978-4480094964 1,404 円 中島平三・池内正幸『明日に架ける生成文法』（開拓社，2005 年） ISBN:978-4-75-891809-1 3,000 円+税 小野尚之他『生成文法の軌跡と展望』（金星堂，2014 年） ISBN: 978-4-7647-4430-3 2,500 円+税 原口庄輔・中村捷・金子義明『＜増補版＞チョムスキー理論辞典』（研究社，2016 年） ISBN: 978-4767434797 6,480 円
履修上のポイント	前期の目標は、現代言語学の中核理論である生成文法の基本を学び、以下の点を中心に、英語と日本語の統語構造について考察する。 ①文の構造 ②言語獲得 ③Xバー理論 ④意味役割 ⑤主語
レポート課題 1	1. 第 1 章から第 6 章を読み、言語獲得と普遍文法の関係について、説明しなさい。 2. 第 1 章から第 6 章を読み、日英語の違いについて、Xバー理論に基づいて説明しなさい。
レポート課題 2	1. 第 7 章を読み、日英語の YES・NO 疑問文を派生する方法について、Xバー理論に基づいて説明しなさい。 2. 第 8 章・第 9 章を読み、日英語の受動文を派生する方法について、項構造に配慮して説明しなさい。 3. 第 12 章。第 13 章を読み、日英語の主語について、項構造に配慮して説明しなさい。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 高見健一 教材名： 『機能的統語論』（くろしお出版，1997 年）ISBN:978-4-87-424151-6 2,000 円+税
	本教材では、基本教材 1 で学んだ文の構造に焦点を当てて分析する形式主義的なアプローチと比較しながら、文の意味や機能に焦点を当てて分析する機能主義的なアプローチを学んでいく。具体的には、英語と日本語を比較対照しながら、それぞれの言語の構文や現象が適格となったり、不適格となったりする背後にある機能上の制約や原則の働きを考察し、その理由を探る。
参考図書	久野すすむ『談話の文法』（大修館書店，1978 年） ISBN:978-4-46-922021-6 2,500 円+税 高見健一『機能的構文論による日英語比較』（くろしお出版，1995 年） ISBN:978-4-87-424107-3, 4,200 円+税 高見健一『日英語の機能的構文分析』（鳳書房，2001 年） ISBN:978-4-90-030481-9 4,800 円+税 中右実ほか『談話と情報構造』（研究社出版，1998 年） ISBN:978-4-32-726002-6 2,400 円+税 福地肇『談話の構造』（大修館書店，1985 年） ISBN:978-4-469-14220-4 2,300 円 +税 西光義弘『日英語対照による英語学概論（増補版）』（くろしお出版，1999 年） ISBN:978-4-87-424169-1 2,500 円+税
履修上のポイント	後期の目標は、文の意味や機能に焦点を当てた機能文法の基本を学び、以下の点を中心に、英語と日本語の構文や現象の背後にある適格性について考察する。 ①後置文 ②省略 ③結果構文 ④受身文 ⑤Tough 構文 ⑥中間態と可能態 ⑦視点 ⑧再帰代名詞 ⑨数量詞の作用域
レポート課題 1	基本教材 2（『機能的統語論』）の第 1 章から第 4 章まで、各章ごとに内容をまとめ、練習問題を解答すること。
レポート課題 2	基本教材 2（『機能的統語論』）の第 5 章から第 9 章まで、各章ごとに内容をまとめ、練習問題を解答すること。

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 西田司・小川直人・西田順子 教材名： 『グローバル社会のヒューマンコミュニケーション』（八潮社、2017 年） ISBN:978-4-86014-830-0 2,000 円＋税
	本書は、1つの理論をベースに、グローバル社会における、異なる地域で生まれ育った人とのコミュニケーションは、その人の考え方や行動の仕方を理解しなければ、相互理解は深まっていきません。3つのことを本書は明らかにしています。1. コミュニケーションを理解する方法、2. 相手の文化的な特徴を知ること、3. 文化背景の異なる人との効果的なコミュニケーション。
参考図書	Gudykunst, W. B. (2004) (4 th ed.). <i>Bridging Differences: Effective Intergroup Communication</i> . Sage. ISBN: 0-7619-2936-3
履修上のポイント	教科書及び参考書には、個人が文化的特徴及びコミュニケーションの特徴を測定することのできるアンケート（測定尺度）が掲載されています。まず、これらのアンケートに記入し、自分の数値を算出し、自分の傾向を把握することから始め、各章のテーマを理解していきましょう。
レポート課題 1	教材を読み、予約すること、次に、その理解をもとに1つのテーマ（章全体のテーマあるいはその中のテーマ）について考察すること。第1部（第1章、第2章、第3章、第4章）を2000字で要約し、1つのテーマについて1000字で考察してください。 留意点： 考察では、要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。
レポート課題 2	同様に、第3部（第7章、第8章、第9章、第10章）を2000字で要約し、1つのテーマについて1000字で考察してください。 留意点： 考察では、要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： リッチモンド, V. P. & マクロスキー, J. C. 教材名： 『非言語行動の心理学』（北大路書房、2001 年） ISBN: 978-4-76-282220-9 3,200 円＋税
	本書は、メッセージの一部である、非言語のサイン全体をテーマとしていて、コミュニケーション全体を理解するには、最適の専門書です。概念、ジェスチャー、感情表現、対人距離、接触、接近性といったテーマを含めて、基本的領域をカバーし、後半の章では、前半の基礎概念を用い、実践的なコミュニケーションの場や状況を設定しています。
参考図書	大坊邦夫『しぐさのコミュニケーション』（サイエンス社、1998 年） ISBN: 978-4-78-190888-5 1,500 円＋税
履修上のポイント	本書は、アメリカのおおよそ 50 年のアメリカの非言語コミュニケーション研究の集大成というべき図書です。1970 年代以降の研究結果が載っています。 各章には、用語集がつけられているので、基礎概念を理解するときや、要約をする際に役立ててください。
レポート課題 1	第2章～第5章、第7章～第9章の中から3つの章を選択し、3,000字で要約し、そして、その中から1つの章（あるいは1つのテーマ）について、知識や経験をもとに、1,000字で考察してください。 留意点： 考察では、要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。
レポート課題 2	第10章～第13章の中から2つの章を選択し、2,000字で要約し、そして、その中から1つの章（あるいは1つのテーマ）について、知識や経験をもとに、1,000字で考察してください。 留意点： 考察では、要約で用いた専門用語を使うことが肝要です。

科目名	社会言語学特講	担当者	シマダ 島田 めぐみ	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	---------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	現代社会はさまざまな点において多様化し、ますます社会言語学が扱う事象が多様化してきている。本講義では、社会言語学分野における研究動向を把握し、新たな課題を発見・解決する能力を身につけることを目指す。 本講義を通して、世界の言語的課題を理解し説明する能力、論理的に分析する能力、問題を解決する能力、挑戦する力、自己分析能力を獲得することを目的とする。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 社会言語学に関する知識を身につけ、研究方法を理解する。 【行動目標（SB0s）】 ・ 社会言語学で扱われる言語的事象を説明することができる。 ・ 文献で扱われている方法を理解し、応用することができる。 ・ 小規模調査を実施することができる。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・ manaba folio を利用し、ポートフォリオに基づき自身の学修を振り返る ・ manaba folio 上で、ピア・レスポンス活動を行う。 【学修方略（LS）】 ・ 教材と関連文献を熟読する。（自習） ・ 課題に関し、小規模調査を実施する。（自主研究） ・ リポートを執筆する。（リポート作成） ・ 他の受講者のリポートを読み、テーマに関し理解を深める。（ディベート） ・ 他の受講者のリポートについて感想・意見を述べる。（ディベート） 【学修時間】 各リポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要する。 ・ 教材と関連文献の学修：20 時間 ・ 事例の分析とリポート執筆：15 時間 ・ リポート遂行と最終稿の完成（教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む）：10 時間		
スケジュール	<前期> ・ リポート課題 1 締切：6 月末（初稿）（最終稿提出期限：前期締切日） ・ リポート課題 2 締切：8 月末（初稿）（最終稿提出期限：前期締切日） <後期> ・ リポート課題 1 締切：11 月 15 日（初稿）（最終稿提出期限：後期締切日） ・ リポート課題 2 締切：12 月末（初稿）（最終稿提出期限：後期締切日）		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	リポート	80 %	形式（構成、引用の仕方、適切な表現）、内容（論旨の明快さ、独創性、課題把握の適切性）
	観察記録	20 %	ピア・レスポンスへの参加度、リポート添削への対応等
履修者への要望	・ 教師によるフィードバック、必要に応じピア・レスポンスをもとにリポートを完成させることが求められる。 ・ 無断引用、不適切な引用がなされた場合は、不正行為とみなされ、失格となる場合がある。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 真田信治 教材名： 『社会言語学の展望』（くろしお出版，2006） ISBN： 4-87424-345-2 2,200 円+税
	社会言語学では様々な言語学的事象が扱われるが，本書はそれらを網羅したものであり，社会言語学の全体像がわかる書籍である。本書の特筆すべき特徴は，それぞれの言語学的事象に関する研究の流れが解説され，章の最後には研究の展望が述べられている点にある。
参考図書	飯野光一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子『新世代の言語学 -社会・文化・人をつなぐもの-』（くろしお出版，2003） ISBN： 4-87424-274-X 1,800 円+税
履修上のポイント	基本教材 1 を通して，社会言語学の基本，研究の流れ，展望，さらに研究の手法についても学ぶ。また，この書籍が出版された時期と現在の間にどのような変化が起こったかにも興味を持ちながら読み進めてほしい。
レポート課題 1	教材各章末の演習問題から 1 つ選び，小規模な調査によりデータを収集し，その章の内容を踏まえて，結果を分析する。（3,000 字～4,000 字） 留意点： 小規模でいいので，なんらかのデータを収集し，結果をわかりやすく述べること。必ず，その章に記述されている内容と関連づけて分析すること。
レポート課題 2	教材内のテーマから 1 つ選び，それに関連する 2007 年以降の論文を 1 から 3 点読み，選んだテーマについての基本教材 1 の記述と 2007 年以降の論文の記述をまとめる。（4,000 字～5,000 字） 留意点： 教材は 2006 年発行であるため，その後，当該分野の研究がどのように進んだかを分析すること。2007 年以降の論文は，6 から 20 ページ程度の論文を探すこと。論文は，CiNii や Google Scholar などの Web ページで探すことができる。単に内容を引用するのではなく，基本教材 1 の内容と選んだ論文の内容を結びつけながら（比較しながら），自分の言葉で説明すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 日比谷潤子 教材名： 『はじめて学ぶ社会言語学 -言葉のバリエーションを考える 14 章-』（ミネルヴァ書房，2012） ISBN： 978-4-623-06140-2 2,800 円+税
	社会言語学のうち，バリエーションに注目してまとめられた書籍である。具体的な研究内容が解説されているので，方法論という観点からも参考になる。各章に読書案内が記載されているため，さらに学びを進めることができる。
参考図書	NHK「みんなでニホン GO!」制作班『みんなでニホン GO! オフィシャルブック』（祥伝社，2010） ISBN： 978-4396613723 1,300 円
履修上のポイント	言語のバリエーションと研究の方法論を中心に学んでもらいたい，研究の素材が身の回りには多くあることを認識し，また，これらのことを日本語教育などの外国語教育で扱うことも想像しながら学修を進めてほしい。
レポート課題 1	本書で取り上げられている言語事象について調査をする場合の計画を立てる。取り上げる言語事象について本書に書かれていることをまとめた上で，調査の目的（何を明らかにしたいか），予想される仮説，方法（データの収集の方法），分析の方法を記載する。（2,000 字～3,000 字） 留意点： レポート課題 2 で実際にパイロット的調査を行うため，実現可能な方法を考えること。練習問題の内容を参考にしてもいい。
レポート課題 2	レポート課題 1 で検討した計画に沿ってパイロット的調査（小規模調査）を実施し，結果をまとめる。調査の目的，仮説，データ収集の方法，分析の結果，仮説の検証（仮説通りだったか）をレポートに加えること。（4,000 字～5,000 字） 留意点： 結果が新しいことでなくても，仮説通りでなくても，期待した結果がでなくても構わない。研究計画を立てて，実際にデータ収集し，分析することが重要である。もし研究計画に不備があった場合はそのことも結果に記載すること。パイロット的調査なので，データ数は多くなくていい。

科目名	第二言語習得論特講	担当者	タジマ 田嶋 ミチオ 倫雄	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	第二言語習得論の多岐にわたる理論と研究結果を概観し理解を深め、基本的なデータ収集と調査による研究手順を理解し、履修者各自の研究計画が作成できるようになることを目的とする。 以上の目的を達成することにより、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、挑戦力、省察力を身に付けることを目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】：A-1:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-6:4, A-8:4		
到達目標	【一般目標（GIO）】 第二言語習得論の学際的で多様な側面をもつ理論に照らし合わせながら、外国語の習得に関する一般的見解を概観しつつ、学術的データからの証例を検討するため、自立した研究者としての自ら学び考える力を備える。さらに外国語研究および教育における現状を理解し、説明する力を養う。 【行動目標（SB0s）】 履修者は自ら課題範囲内から研究題材を選択し、文献研究を通して現在の外国語教育の問題点の発見につとめ、論理的思考のもと解決策を記述する。さらに、実施可能な調査・研究の計画書および報告書を試作し説明することができる。		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 履修者同士の manaba 上での議論と課題に対するフィードバックを経て協働力とコミュニケーション能力を磨く 【学修方略（LS）】 レポート課題を提出して形式のおよび内容的な指導を受ける。その指導をもとに課題を加筆・修正して再提出をする。学習の振り返りと指導に基づく加筆・修正の繰り返しを通して段階的にレポート課題を仕上げていく。 【学習時間】 各レポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：20 時間 レポート執筆：15 時間 レポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：10 時間		
スケジュール	前期：レポート課題 1 初校締切（5 月末）、最終稿締切（前期締切日） レポート課題 2 初校締切（6 月末）、最終稿締切（前期締切日） 後期：レポート課題 1 初校締切（10 月末）、最終稿締切（後期締切日） レポート課題 2 初校締切（11 月末）、最終稿締切（後期締切日） 初校締切の変更を要する場合は、なるべく早めにスケジュール調整の依頼を担当者までメールで通知すること。修正による再提出を指導された場合は、最終締切日までに必ず提出すること。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	60 %	レポートの最終稿の形式（構成、体裁、参考文献など）や内容（論旨、独創性、考察など）を評価する。
	観察記録	40 %	manaba 上にて適宜実施予定のアンケートやクイズへの参加、レポート課題の提出期限の厳守、レポート添削後の修正について評価する。
履修者への要望	メールや manaba のマイコースにて随時通知する。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： Patsy M. Lightbown and Nina Spada（著） 教材名： <i>How Languages are Learned</i> . 4th ed. Oxford University Press, (2013) ISBN:978-0-19-454126-8 £24.50 3,900 円+税
	第二言語習得論を基礎から学び、自分の興味ある研究分野の方向性を探る上で参考になる入門書といえる。第一言語習得からはじめ、第二言語習得の特徴、理論、調査結果など多くの例が提示されていて、全体を概観でき、意欲的な履修者にも読み応えのある内容である。
参考図書	①白井恭弘（著）『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』（岩波書店、2008 年） ISBN:978-4-00-431150-8 720 円+税 ②浦野研（他）（著）『はじめての英語教育研究—押さえておきたいコツとポイント』（研究社、2016 年）ISBN:978-4-327-42197-7 2,400 円+税
履修上のポイント	基本教材や参考図書を中心に、また掲載されている引用文献なども参考にしながら、焦らずに熟読すること。担当教員と連絡を取り、必要な場合には内容や進度について相談すること。
レポート課題 1	教材 <i>How Languages are Learned</i> の Chapter 1 と 2 を読み、外国語を教える教師にとって第二言語習得論を知ることの重要性を日本語 3,000 字程度で述べること。 留意点： 教材の引用、自分の考察、今後の研究にどう役立てられるかも加えること。
レポート課題 2	教材の Chapter 3 を読み、学習の個人差について興味のある事柄を選択し、また学術雑誌から査読付き研究論文を 3 本以上（英文の論文 1 本以上）選び熟読し、その内容を簡潔にまとめること。 留意点： 先行研究をまとめたもの、自分の考察、今後の研究にどう役立てられるかも含めて 3,000 字程度で述べること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 教材名： 教材 1 と同じ
	教材 1 と同じ
参考図書	①セリガー、ハーバート&ショハミー、イラーナ（著）『外国語教育リサーチマニュアル』（大修館書店、2001 年）ISBN:978-4-46-924457-1 2,800 円+税 ②馬場今日子&新多了（編）『はじめての第二言語習得論講義—英語学習への複眼的アプローチ』（大修館書店、2016 年）ISBN:978-4-469-24608-7 1,900 円+税
履修上のポイント	基本教材や参考図書を中心に、また掲載されている引用文献などを参考にしながら、焦らずに熟読すること。担当教員と連絡を取り、必要な場合には内容や進度について相談すること。
レポート課題 1	教材 <i>How Languages are Learned</i> の Chapter 4 と 5 を読み、第二言語学習を説明する理論と、学習者の学習を観察することについて 3000 字程度で述べること。 留意点： 教材の引用、自分の考察、今後の研究にどう役立てられるかも加えること。
レポート課題 2	教材の Chapter 6 と 7 を読み、教授法の提案と通説について興味のある事柄を選択し、学術雑誌から研究論文を 3 本以上選び（英文の論文 1 本以上）、その内容を簡潔にまとめること。 留意点： 研究計画書（想定も可）を含め、学術論文の体裁を意識し 3,000 字程度で作成すること。

科目名	言語教育工学特講	担当者	ホサカ 保坂 トシコ 敏子	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	---------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	現在、言語教育では、印刷教材だけでなく、e-Learning 教材やWeb コンテンツ、ICT（Information and Communication Technology）の各種技術など、多様な教育メディアが利用されている。また、ICTにより教室を超えた対話や学習者の自律学習が可能になり、対面授業と e-Learning を組み合わせるブレンデッドラーニングも散見されるようになった。本講義では、言語教育における ICT の効果的な教育利用のために、インストラクショナルデザイン（Instructional Design:ID）を学ぶ。さらに、オープンエデュケーション教材（Open Educational Resources: OER）を使った e-Learning を実体験し、言語教育においてより効果的に e-Learning および ICT を活用できる能力を身に付ける。 以上の目的を達成することにより、論理的・批判的思考力を中心に、問題発見・解決力、挑戦力、コミュニケーション力、協働力、省察力、世界の現状を理解し説明する能力の獲得を目指す。 【日本大学教育憲章ループリック：A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-6:4, A-7:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 ICT を利用した言語教育やその研究に必要な専門性（知識・技能・態度）を修得する。 【行動目標（SB0s）】 ・e-Learning の基盤となる学習理論と ID のモデルを説明できる。 ・それを基に、言語教育の実践例を分析・評価できる。 ・OER を使った学習を体験し、自らの学びについて、ならびに、OER を使った学習の利点と問題点について論述できる。 ・自分の教育現場に配慮して、e-Learning や ICT 利用した授業デザインを立案できる。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio のコレクションを利用して、インタラクティブな個別指導を受ける。 ・manaba folio の掲示板を利用し、受講者同士の協働学習を行う（課題図書等に関する受講者同士の質疑応答・意見交換、レポートの推敲のためのピア・レスポンス等） ・OER を視聴し、レポートを作成する。 ・図書館、インターネットで自律的に論文を検索して、レポートを作成する。 【学修方略（LS）】 （自習）教材の熟読、OER による自律的学習 （自主研究）参考文献の検索と熟読 （レポート作成）レポートの作成・レポート推敲 （ディベート）掲示板上のディスカッション、ピア・レスポンス（受講者同士で互いのレポートにコメントをし合い、推敲する協働活動） 【学修時間】 レポート課題 1 つにつき、完成までに以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 1) 教材の学修：20 時間 2) レポート執筆：10 時間 3) レポート推敲と最終の完成（教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む）：15 時間		
スケジュール	<前期> ・レポート課題 1 締切：6 月末（初稿） 前期締切日（最終稿） ・レポート課題 2 締切：8 月末（初稿） 前期締切日（最終稿） <後期> ・レポート課題 1 締切：10 月末（初稿） 後期締切日（最終稿） ・レポート課題 2 締切：12 月末（初稿） 後期締切日（最終稿）		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	論旨明確さ、独創性、構成、文章表現の妥当性、引用の適切性等 ★前期レポート課題 1, 2 と後期レポート課題 1 は最終稿で評価する。 ★後期レポート課題 2 は最終試験として初稿で評価する。提出後の指導・ピア・レスポンスは通常通り行う。
	観察記録	20%	ピア・レスポンスへの参加度、レポート添削への対応等
履修者への要望	・レポートは、初稿から最終稿にいたるまで、教師のフィードバックによる書き直し、ピア・レスポンスによる推敲、最終稿の完成と段階的に進める。 ・初稿の提出は締め切りを遵守すること。 ・ピア・レスポンスは、それぞれのレポートへの個別指導が終わり次第始める。 ・レポートでは、引用のルールや参考文献の明示、制限文字数（参考文献、注を除いたもの）を遵守すること。無断引用等、研究倫理上の重大な問題があった場合は、評価の対象外となる。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 鄭仁星・久保田賢一・鈴木克明 教材名： 『最適モデルによるインストラクショナル・デザインーブレンド型 e ラーニングの効果的な手法』（東京電機大学出版局，2008 年）ISBN-10: 4501543906 1,900 円+税
	本書は、インストラクショナル・デザイン（Instructional Design: ID）とは何か、ID にはどのようなモデルがあるか、ブレンド型 e-Learning の環境をどう設計するかについて解説している。対面授業と e-Learning を組み合わせたブレンド型 e-Learning を設計する際の背景となる学習理論から設計の手順まで学ぶことができる。
参考図書	日本教育工学会監修 坂本昂・岡本敏雄・永野和男編著 『教育工学とはどんな学問か』（ミネルヴァ書店，2012 年）ISBN:978-4623063611 2,600 円+税 R.A. リーサー，J.V. デンプシー編 鈴木克明・合田美子監訳『インストラクショナルデザインとテクノロジー：教える技術の動向と課題』（北大路書房，2013）ISBN-10: 4762828181 4,800 円+税
履修上のポイント	教育工学は、コンピュータや ICT などを使った「テクノロジーによる教育」だけでなく、教育過程そのものをテクノロジーとして捉え直す「テクノロジーとしての教育」を研究する役割を担っている。e-Learning による教育や ICT を利用する教育では、それらを学習環境として授業に効果的に位置付けることが重要である。ID を学び、ID を枠組みに、国語や英語、日本語等の言語の授業における効果的な活用について検討すること。 ピア・レスポンスによる協働活動を通して、自分の視点と他者の視点とを交流させ、レポートの考察を深めていただきたい。
レポート課題 1	1 章～6 章や参考図書を読んで、ID の定義と背景となる学習観・学習理論についてまとめ、教材で紹介されている OPTIMAL モデルの概要を解説する。(3,000 字～4,000 字) 留意点：学習理論による ID モデルの違い、OPTIMAL モデルの特徴を分かりやすく解説すること。
レポート課題 2	言語教育や異文化間教育分野の e-Learning や ICT 利用の実践例（論文・報告書）を検索し、事例を 2 つ取り上げて、基本教材の 7 章，8 章を参考に OPTIMAL モデルを枠組みにした分析を行い、その結果について論じる。(3,000 字～4,000 字) 留意点：マイクロデザインとマイクロデザインに分けて整理すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 栗田佳代子，日本教育研究イノベーションセンター 編著 教材名： 『インタラクティブ・ティーチングーアクティブ・ラーニングを促す授業づくりー』（河合出版，2017 年）ISBN:978-4-7772-1794-6 2,500 円+税 講義動画：http://www.utokyofd.com/mooc/contents（8 週間プログラム） （東京大学ファカルティー・ディベロップメント HP 内）
	講義動画は JMOOC 講座として配信されたもので、現在、OER として東京大学の HP で広く公開されている。印刷教材は、その講義動画を学ぶための教材である。大学教員準備プログラムから生まれた講座であるが、アクティブ・ラーニングの手法やルーブリックによる評価など、インタラクティブ・ティーチングの理論や方法論が体系的に学べ、分野を問わず教師の能力開発に役に立つ。
参考図書	吉田晴世・野澤和典 編著『最新 ICT を活用した私の外国語授業』（丸善プラネット，2014 年）ISBN: 978-4863451971 2,700 円+税
履修上のポイント	印刷教材の課題に取り組みながら、8 週間のプログラムをそれぞれ自律的に進める。学習過程での疑問や意見は manaba folio の掲示板に掲載し、受講者同士でやり取りをする。OER を使った自律的な学びの実体験について、学んだ内容や学習方法をクリティカルに検討する。参考図書や論文をできるだけ参照して、自分の現場を念頭に置いた授業デザインを考案する。 ピア・レスポンスによる協働活動を通して、自分の視点と他者の視点とを交流させ、レポートの考察を深めていただきたい。
レポート課題 1	8 週間の講義動画による自律的学習を通して、講義内容から何を学んだか、ならびに、このようなオープンエデュケーション教材を使った学びの方法の利点と問題点は何かについて論じる。(3,000 字～4,000 字) 留意点：講義動画による学びは、特に参考になった章や項目に焦点を絞って論じること。
レポート課題 2	自分の教育現場を対象に、e-Learning, ICT を利用したインタラクティブな授業なデザインを立案してシラバスを作成し、その特徴や期待される効果について論じる。(3,000 字～4,000 字) 留意点：目的や目標の記述や評価の方法などシラバスの記述方法は、基本教材 2 の第 5 章に則ること。1 コマの指導案ではなく、ひとつのコースを計画すること。

科目名	言語教育デザイン論特論	担当者	トヨタ テツヤ 豊田 哲也	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	言語教育に関する研究を遂行するためには、研究方法の策定と、収集したデータに対する適切な分析手法が必要不可欠である。本講座は、言語教育研究で用いられる研究法と統計分析手法について研究事例を参考に学習し、各研究法に応じた分析能力を習得することで、自身の研究計画立案能力の向上を目的とする。これにより、当該分野についての知識や倫理観を養い、論理的かつ批判的な思考力のほか、当該分野の問題点の発見とその解決を通じた挑戦力や省察力の獲得を目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 言語教育研究における各種研究法・統計分析手法の特徴を理解し、言語教育研究を実践するためのアプローチを正しく理解する。 【行動目標（SB0s）】 - 各種研究法・統計分析手法について理解し、説明することができる。 - 研究計画を立案することができる。 - 研究内容に応じた統計分析手法を選択し、結果の解釈ができる。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folio 上でのピア・レスポンス 【学修方略（LS）】 - 教材を熟読し、レポートを執筆する。 - レポートの作成と推敲において自己添削を繰り返してレポートを完成させる。 - 教員からの添削を踏まえてレポートを修正する。 【学修時間】 各レポート課題の作成について必要となる時間の目安は以下の通りとする。 - 教材の修得：10 時間 - レポートの執筆：15 時間 - レポートの推敲：20 時間（教員とのディスカッション、ピア・レスポンス含む）		
スケジュール	<前期> 6 月末：レポート課題 1 初稿提出 8 月末：レポート課題 2 初稿提出 - 前期課題提出締切日：レポート課題 1, 2 最終稿提出 <後期> 10 月末：レポート課題 1 初稿提出 12 月末：レポート課題 2 初稿提出 - 後期課題提出締切日：レポート課題 1, 2 最終稿提出		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	構成、表現方法、課題の認識、論旨の明確さ等に加えて、以下の基準で評価する。 - 教材内容の理解度（レポート初稿を基に評価） - レポートの完成度（レポート最終稿を基に評価）
	観察記録	20%	ピア・レスポンスへの参加度、レポート添削への対応等
履修者への要望	- レポート提出前に、自己添削によるレポートの完成度向上に努めること。 - レポート提出の締切は厳守すること。 - レポート作成にあたって引用した情報は必ず明記すること。 - レポートは研究倫理を遵守して作成し、無断引用等の研究倫理違反には十分留意すること。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 西村純一，井上俊哉 教材名： 『これから心理学を学ぶ人のための研究法と統計法』（ナカニシヤ出版，2016）ISBN 978-4-7795-0998-8，2,800 円+税
	本書は心理学の初学者向けに，基礎的な研究法と収集データを分析するための統計法についてやさしく書かれている．研究計画の立案と研究目的に応じた分析手法を理解することが可能である．
参考図書	三浦省五，前田啓朗，山森光陽，磯田貴道，廣森友人『英語教師のための教育データ分析入門』（大修館書籍，2004）ISBN 978-4-469-24493-9，1,600 円+税 鈴木真人『分散分析と実験計画法』（日本工業新聞社，2018）ISBN 978-4-526-07829-3，2,400 円+税
履修上のポイント	言語教育研究を進める上で必要な研究法について学び，それぞれの研究法をどのように言語教育研究で役立てられるかを考えながら学習を進めること．その際に，各研究法について詳細に理解できなくても構わないが，研究目的を明らかにするためにどのような研究法を用いるべきなのかを考えながら学習してほしい．
レポート課題 1	第 I 部「研究法」を読み，3 章～7 章の各研究法について要点をまとめる（5,000 字程度）． 留意点： それぞれの研究法の比較等を行う場合は，各研究法の要点説明後に記述する．図表等を適宜使ってわかりやすい記述を心がけること．
レポート課題 2	「実験法」「観察法」「面接法」「質問紙法」「事例研究法」を用いた言語教育研究の論文を 3 本探し，それぞれの研究デザイン（目的，方法，データの種類，分析方法，結果）についてまとめる（5,000 字以内）． 留意点： 論文は各研究法が異なるものを選ぶことが望ましい．異なる手法であれば論文数は 2 本でもかまわない．

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 西村純一，井上俊哉 教材名： 『これから心理学を学ぶ人のための研究法と統計法』（ナカニシヤ出版，2016）ISBN 978-4-7795-0998-8，2,800 円+税
	本書は心理学の初学者向けに，基礎的な研究法と収集データを分析するための統計法についてやさしく書かれている．研究計画の立案と研究目的に応じた分析手法を理解することが可能である．
参考図書	島田めぐみ，野口裕之『日本語教育のためのはじめての統計分析』（ひつじ書房，2017）ISBN 978-4-89476-862-8，1,600 円+税 奥村太一『教育実践データの統計分析 -学校評価とよりよい実践のために-』（共立出版，2012）ISBN 978-4-320-11028-1，2,500 円+税
履修上のポイント	研究計画を立案するためのポイントを押さえながら学習を進めてほしい．基本教材は言語教育を対象としていないが，言語教育研究を進めていくために参考になる教材である．参考図書と併せて精読されることを勧める．
レポート課題 1	第 II 部「統計法」を読み，それらの統計手法を使った言語教育に関する研究論文を 3 本探し，研究目的と照らし合わせながら，データ分析の方法と結果の解釈について妥当性や問題点を論じる（5,000 字以内）． 留意点： 論文は統計手法が異なるものを選ぶことが望ましい．論文数は 2 本でもかまわない．
レポート課題 2	統計手法を使った研究計画を立案する（5,000 字以内）． 留意点： 立案した研究計画で何を明らかにしたいのかについて詳しく論じ，その上で研究目的に適した統計手法を選択すること．

科目名	日本語学特講	担当者	オノ マサキ 小野 正樹	期間	通年	単位数	4
-----	--------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	現代日本語研究の中でも、語用論の先行研究を理解し、コミュニケーションの多様性を分析するための基礎的な能力を身につける。		
到達目標	【一般目標（GIO）】【行動目標（SB0s）】 言語研究の 1 つのアプローチの発話行為に注目し、言語や社会により原理や方法が異なることを理解する。本授業を通じて、西洋において発達したポライトネスを中心とした先行研究の理解と、日本語の観察、そして、日本語教育での応用できることを目指す。以上の目的を達成することにより、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観を涵養するとともに、論理的・批判的思考能力をはじめ、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、挑戦力、省察力を身に付けることを目指す。 【準備学修項目と準備学修時間】 各リポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 教材の学修：10 時間 リポート執筆：10 時間 リポート推敲（教員の添削指導を含む）・最終稿の完成：15 時間		
学修方略 （方法）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folio の掲示板機能を利用して、受講者同士で課題図書に関する疑問点の質疑応答・意見交換を行う。 manaba folio の全受講者用の掲示板機能を利用して、受講者同士で課題図書に関する情報交換を行う。 【学修方略（LS）】 manaba folio の全受講者用の掲示板機能を利用して、リポートの推敲課程において、受講者が互いのリポートについてアドバイス行う（ピアレスポンスを行う）。		
スケジュール	<前期> ・リポート課題 1 締切：6 月末 ・リポート課題 2 締切：9 月課題締切日 <後期> ・リポート課題 1 締切：11 月末 ・リポート課題 2 締切： 1 月課題締切日		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	リポート	80%	形式（校正、引用の仕方、適切な表現）、内容（論旨の明確さ、独創性、課題把握の適切性）
	平常評価	20%	ピア・レスポンスへの参加度、リポート添削への対応等
履修者への要望	本語環境の多様化や、コミュニケーションツールの発達に伴い、コミュニケーションに変化が指摘されています。規範意識と言語の使用状況をしっかりと理解し、解決方法のための理論を学んで欲しい。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 山岡政紀・牧原功・小野正樹 教材名： 『新版 日本語語用論入門：コミュニケーション理論から見た日本語』 明治書院
	現代日本語の語用論を理解するための、西洋理論を包括的に扱った本で、現在よく読まれている入門書である。
参考図書	ペネロピ・ブラウン, スティーヴン・C・レヴィンソン(2011), 田中 典子 (監修, 翻訳), 『ポライトネス 言語使用における、ある普遍現象 Politeness : Some Universals in Language Usage』 研究社 滝浦 真人 (2008) 『ポライトネス入門』 研究社
履修上のポイント	談話分析、発話機能、配慮表現、待遇表現、ポライトネスなどについて、自分で課題を設定し、議論し、次にレポートの課題を考える。
レポート課題 1	基本教材に書かれている内容を踏まえ、規則と原則の異なりを、日本語教育の観点から深め、具体的な言語現象と対応づけて論じてください。
レポート課題 2	身近な言語現象を、ポライトネス理論を用いて NP と PP に分けて論じてください。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 小野正樹・李奇楠(編) 教材名： 『言語の主観性 ―認知とポライトネスの接点』(くろしお出版)
	本書は、語用論研究の大きな流れ、「主観性」「認知」「ポライトネス」といった3つのキーワードを含めている。言語化において主観とは認知そのものでもあり、対話において主観的な表現にコミュニケーションの摩擦が起きることもある。認知の記述にあたっては、個人レベルだけではなく、ある言語集団の中で共通した仕組みがある。それを伝える場合にもある慣習的な用法が存在し、それが言語集団の中で求められるポライトネスである。記述文法研究で扱われて来た文法現象をよりプラグマティックに分析する。
参考図書	著者名：井出祥子 教材名：『わきまの語用論』(大修館書店)
履修上のポイント	日本語らしさを他言語と対照しながら、日本語学習者の発話の特徴について、自分で課題を設定し、議論し、次にレポートの課題を考える。
レポート課題 1	各言語の“らしさ”には視点の置き方による事態把握の特徴がある。教材から1つの論文を取り上げて、日本語の特徴について考えてください。
レポート課題 2	各言語の“らしさ”には視点の置き方による事態把握の特徴がある。教材からレポート1とは異なる1つの論文を取り上げて、日本語の特徴について考えてください。

科目名	日本語教育方法論特講	担当者	シマダ 島田 めぐみ	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	---------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	日本語教育を考える際、教育の場（日本国内、国外）、機関（初等教育、中等教育、高等教育）は多種多様であり、対象者も年少者、学生、ビジネス関係者、日本の生活者など多様化している。また、教育の方法も常に変化し、新しい教材が次々と開発されている。本講義では、日本語教育の状況、言語学、異文化コミュニケーション、指導法、評価法、教授法、社会、歴史、教材などの観点から多角的に日本語教育を概観し、個々の環境に適した方法を考察する。 世界の日本語教育を適切に考察する能力、日本語教育に関する問題解決能力、挑戦力、指導力、自己分析能力の向上を目指す。 【日本大学教育憲章ルーブリック：A-2:4, A-4:4, A-5:4, A-7:4, A-8:4】		
到達目標	【一般目標（GI0）】 日本語教育について広く理解し、個々の教育現場に適した日本語教育の方法を多角的に考察する能力を身につけることを目標とする。 【行動目標（SB0s）】 - 歴史や社会環境と日本語教育を関連づけることができる。 - 国内外の日本語教育の多様性を説明することができる。 - 日本語教材の歴史・変遷を理解した上で、適切に教材を選び、活用することができる。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 - manaba folio を利用し、ポートフォリオに基づき自身の学修を振り返る - manaba folio 上で、ピア・レスポンス活動を行う。 【学修方略（LS）】 - 教材と関連文献を熟読する。（自習） - 課題に関し、小規模調査を実施する。（自主研究） - レポートを執筆する。（リポート作成） - 他の受講者のレポートを読み、テーマに関し理解を深める。（ディベート） - 他の受講者のレポートについて感想・意見を述べる。（ディベート） 【学修時間】 各リポート課題の準備から完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要する。 - 教材と関連文献の学修：20 時間 - 事例の分析とリポート執筆：15 時間 - リポート遂行と最終稿の完成（教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む）：10 時間		
スケジュール	<前期> - リポート課題1 締切：6月末（初稿）（最終稿提出期限：前期締切日） - リポート課題2 締切：8月末（初稿）（最終稿提出期限：前期締切日） <後期> - リポート課題1 締切：11月15日（初稿）（最終稿提出期限：後期締切日） - リポート課題2 締切：12月末（初稿）（最終稿提出期限：後期締切日）		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	リポート	80 %	形式（構成、引用の仕方、適切な表現）、内容（論旨の明快さ、独創性、課題把握の適切性）
	観察記録	20 %	ピア・レスポンスへの参加度、リポート添削への対応等
履修者への要望	- 教師によるフィードバック、必要に応じピア・レスポンスをもとにリポートを完成させることが求められる。 - 無断引用、不適切な引用がなされた場合は、不正行為とみなされ、失格となる場合がある。		

【リポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 遠藤織枝（編） 教材名： 『日本語教育を学ぶ その歴史から現場まで [第二版]』（三修社，2011） ISBN：978-4-384-05649-5 2,400 円+税
	日本語教育の状況，言語学，異文化コミュニケーション，指導法，評価法，教授法，社会，歴史などの観点から多角的に日本語教育を概観している本である。世界各地の日本語教育現場の体験談や現地レポートが多く掲載されており，日本語教育の多様性が理解できる。
参考図書	国際交流基金『海外の日本語教育の現状 2015 年度日本語教育機関調査より』Web 版 (https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/result/survey15.html)
履修上のポイント	基本教材 1 は日本語教育の基礎的内容なので，いずれの章も十分理解してほしい。第 1 章の「日本語を学ぶ人・教える人」の海外の情報は，国際交流基金の 2009 年度の調査資料をもとに執筆されているので，最新の 2015 年度の情報は上記参考図書を参照すること。
リポート課題 1	第 1 章，第 8 章，第 9 章を読み，歴史がどのように日本語教育に影響を及ぼしていたかを考察し，さらにこれからの日本語教育のあり方を論じる。（4,000 字～5,000 字） 留意点： 歴史的事実と日本語教育の関係を把握して，現在における学習者のニーズの変化を理解して，考察すること。「引用」と「自己の考察」部分を明確に分けて記述すること。
リポート課題 2	第 1 章、第 4 章、第 5 章、第 6 章を読んだ上で，地域・対象者を 1 つ設定して，どのような日本語教育を実践するか，コースデザインを検討する。国際交流基金の海外の日本語教育の現状 2015 年度調査の結果をニーズ把握の参考にする。（3,000 字～4,000 字） 留意点： シラバス，教材，具体的な活動（1 例），評価の方法を含める。第 1 章の体験談，第 6 章現地レポートを参考にすること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 吉岡英幸・本田弘之 教材名： 『日本語教材研究の視点-新しい教材研究論の確立をめざして』（くろしお出版，2016） ISBN：978-4-87424-716-7 2,400 円+税
	日本語教材を多角的な視点から検討した教材であり，日本語教材研究の概要，現状が把握できる。日本語教材がどのように変遷したか歴史的な検討，日本語教材の多角的な視点からの分析，どのように使用されるのかという分析が行われている。
参考図書	『みんなの日本語初級Ⅰ 第 2 版本冊』（スリーエーネットワーク，2012） 『みんなの日本語初級Ⅱ 第 2 版本冊』（スリーエーネットワーク，2013） ISBN：978-4384056495，978-4883196463 各 2,500 円+税
履修上のポイント	日本語教材を分析することにより，日本語教育の方法や内容，さらには習得を理解することが可能であるため，基本教材 2 を通して教材分析の方法を理解すること。
リポート課題 1	第 4 章，第 5 章を読んで，日本語教育において教科書を使用する際の利点と問題点を整理した上で，教科書を選択・使用する際に検討すべき点について論じる。（3,000 字～4,000 字） 留意点： 第 7 章，第 9 章を参考にすること。「引用」と「自己の考察」部分を明確に分けて記述すること。
リポート課題 2	参考図書を含む日本語教科書 1 冊以上を対象に，第 4 章，第 5 章，第 9 章のいずれかの分析のポイントを参考に，教材を分析する。（3,000 字～4,000 字） 留意点： 受身など文法項目の取り上げ方（第 4 章），コーパスとの比較（第 5 章），導入の方法（第 9 章），いずれかの視点から分析すること。

科目名	英語学特講	担当者	C. S. ラングハム	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	-------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	Objective: To acquire a broad knowledge of linguistics through reading introductory texts and develop a set of skills to identify and solve key issues. Students should also demonstrate leadership and communication skills. By reflecting on what has been learned, students will be able to comprehend and explain their studies from a global perspective. 【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】：A-2:4, A-3:4, A-6:4, A-7:4		
到達目標	【一般目標 (GIO)】 Students will learn basic concepts and essential terminology that will provide a stepping stone to further study in linguistics. Through reading textbooks and doing independent study, students will develop an understanding of key topics and issues in linguistics. 【行動目標 (SBOs)】 Students should understand the range of topics in the field of linguistics. Students should be able to retrieve information from the Internet on topics in linguistics that are relevant to their interests and situations. Students should be able to pick up topics of interest from the textbooks and comment on them in written and / or spoken form.		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Focus on selected topics from the textbooks. Write short summaries of those topics selected. Do further reading and research on the topics. 【学修方略 (LS)】 Students will receive feedback and advice on format and content of their reports. Based on feedback from the teacher, students will revise and resubmit a final version of their report. Through repeated feedback and rewriting, students will improve the content of their report step by step and, in the process, develop their writing and critical thinking skills. 【学習時間】 Time required 45 hours per report Reading the textbook and supplementary texts - 25 hours Writing a draft of a report, first submission - 10 hours Revising the draft, submit final version - 10 hours		
スケジュール	Semester 1: Two reports. One to be submitted by the end of May and the other by the end of June. The final deadline is September 19th. Semester 2: Two reports. One to be submitted by the end of October and the other by the end of November. The final deadline is January 14th.		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	60%	Students will be awarded points for the following aspects of their written work: organization, format, references, logic, discussion, originality and creativity.
	観察記録	40%	Students will access Manaba to take short quizzes and surveys. They will also be required to write short comments on parts if the textbook that they are particularly interested in. Points will be awarded for keeping to the deadline and regularly submitting work.
履修者への要望	Although students will be reading the same textbooks, they will have the freedom to focus on topics that particularly interest them and write about those topics as a major part of their assessment. The teacher will be posting comments and advice on Manaba, so it is important for students to maintain access to the site. I look forward to working with you and helping you to achieve your learning goals.		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名 : Jean Aitchison 教材名 : <i>Aitchison's Linguistics, Teach Yourself</i> , (2010) ISBN 978-1-4444-10596-4 \$16.99
	Introduction to the text This book is an ideal guide to linguistics. It is a straightforward introduction that will help students to understand basic concepts, essential terminology and key issues. It contains many accessible examples, and has short summaries and lists of 'things to remember' in each section. It provides a good base for further more specialized studies.
参考図書	P. H. Mathews, <i>Linguistics: A very short introduction</i> , Oxford (2003) 1,297 Yen
履修上のポイント	Students should read the textbooks as thoroughly as possible and take notes on parts that are particularly relevant to them. As you read, please consider any topics or content areas that you would like to concentrate on when writing a report. If you have problems or want advice, please contact the teacher in charge.
レポート課題 1	Read parts 1 and 2 of the book. Pages 3 to 117. 留意点 : Refer to the textbook and take notes on subjects of interest that will be potential topics for written assignments
レポート課題 2	Read part 3 of the book. Pages 123 to 182. 留意点 : Students should refer to current journals in the field of linguistics and select 2 papers to read on a topic of interest.

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名 : 教材名 : 教材 1 と同じ
	教材 1 と同じ
参考図書	R. L. Trask & Bill Mayblin, <i>Introducing Linguistics: A graphic guide</i> , Icon Books (2014) Kindle 688 Yen
履修上のポイント	Students should read the textbooks as thoroughly as possible and take notes on parts that are particularly relevant to them. As you read, please consider any topics or content areas that you would like to concentrate on when writing a report. If you have problems or want advice, please contact the teacher in charge.
レポート課題 1	Read part 4 of the book. Pages 195 to 230. 留意点 : Students should access relevant Internet sites on the subject of Linguistics and gather information that can be used in written assignments.
レポート課題 2	Read part 5 of the book. Pages 235 to 274. 留意点 : Students should try to find relevant literature on some of the topics in part 5 of the book and if possible include it in the assignment.

科目名	英語教育方法論特講	担当者	オオタ 太田 ハルミ 晴美	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	本講義は英語教授法に関連する理論とその背景について理解を深めることにより以下の能力を身につけることを目的とする。 ・グローバル化による多文化化、多言語化が英語教育理論のパラダイムに大きな変化を及ぼしつつある中、英語教育現場が直面している問題の解決策を提案することができる。【A-2:4】 ・学修者は英語教育現場を取り巻く環境の変化を理解し、問題点や課題に対し、具体的かつ理論整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。【A-3:4】 ・創造力と独自性をもって英語教育現場における問題解決の手順を立案し、独力または他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】 ・責任と役割を担い、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。【A-5:4】 【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 グローバル時代における日本人学習者に相応しい実践的能力育成のため、教授法理論の必要な専門性を習得する。 【行動目標（SB0s）】 ・学修者は「共通語としての英語」理論を説明できる。（知識・想起） ・教育現場における様々な実践例を分析し、評価できる。（知識・解釈） ・英語教授法の実践性のある実践的な教授法を形成できる。（知識・問題解決） ・教育現場で応用することができる。（技能）		
学修方略 （方法）	【レポート作成】 【学修時間】 準備学修項目：課題テキストを読み、レポートにまとめる 準備学修時間：45 時間×4 【10 時間 / レポート 1 本】【20 時間 / 教材の学修】【15 時間 / レポート推敲と最終稿の完成】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio を使ったインタラクティブな添削指導を受ける ・図書館・インターネット等で資料を検索、収集し、レポートを作成する。 【学修方略（LS）】 前期後期とも、指定されたテキストと参考図書も合わせて熟読し、レポートを作成する。教員と受講生とのディスカッション、レポート推敲を経て、最終版を完成させる。		
スケジュール	【前期】課題提出締切日 レポート課題 1 締め切り：6 月末（初稿） 最終原稿提出期限→前期締切日 レポート課題 2 締め切り：8 月末（初稿） 最終原稿提出期限→前期締切日 【後期】 レポート課題 1 締め切り：10 月末（初稿） 最終原稿提出期限→後期締切日 レポート課題 2 締め切り：12 月末（初稿） 最終原稿提出期限→後期締切日		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	レポートの構成、文章表現、論旨の展開、引用についての適切性
	観察記録	20 %	レポート添削への対応
履修者への要望	・レポートは担当教員のフィードバックのよる書き直しを繰り返しながら（特に英文の場合）最終稿が締め切りに間に合うよう、計画的に進めること。締め切りに変更が必要な場合は担当教員まで連絡する。 ・日本の教育現場で英語を（将来的に）教える受講者には、英文レポートの作成に挑戦してほしい。 *後期に使用する以下のテキスト（kindle 版あり）は前期中にアマゾン等で早めのご購入をお勧めいたします。購入が難しい場合は担当者にメールでご相談ください。 Aya Matsuda (Ed.) <i>Preparing Teachers to Teach English as an International Language Multilingual Matters</i> (2017) ISBN: 978-1-78309-701-2 (4,915 円)		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	Sandra Lee McKay 著者名 : <i>Teaching English as an International Language: Rethinking Goals and Approaches</i> 教材名 : Oxford University Press (2002) ISBN: 978-0-19-437364-7 (4,290 円+税)
	本書は英語を取り巻く環境が変化中、これからの教育現場で「国際共通語としての英語」(EIL)とどう関わっていくかをわかりやすくまとめた入門書である。英語が国際共通語になるまでの歴史的、言語的背景の記述から始まり、バイリンガル教師としてのスタンス、そして英語の国際的スタンダードをどう定義するか、その問題点について掘り下げて論じている。後半は英語教授法における国際共通語と文化の扱い方、そして具体的な指導法について提案をする。
参考図書	① Jennifer Jenkins <i>Global Englishes: A Resource Book for Students</i> Routledge (2014) ISBN:978-0-415-46612-7 ② 本名信行『国際言語としての英語』（富山房インターナショナル、2013 年） ISBN:978-4-905194-56-9 ③ 英語教育と文化—異文化コミュニケーション能力の養成(英語教育学大系第 13 巻) (大修館書店、2010 年) ISBN: 978-4-469-14233-4
履修上のポイント	グローバル化がますます拡大する中、英語教育の指導者は英語教授法の新たなパラダイムの構築を認識しなければならない。各々の立場からここに書かれている内容をどう教育現場で適用できるかを念頭に置いて読み進めてほしい。内容等について必要な場合には担当教員と相談すること
レポート課題 1	Chapter 1 から Chapter 3 までを読み、EIL の変遷と現状を踏まえたうえで、世界で英語が多様化し、様々な英語変種が生まれる中で、これからの「英語のスタンダード」、「ネイティブ・スピーカー」をどう定義するかも含めて考察し、3,000 字程度で論じる。英文レポート (2,000 words 程度) の提出も可。 留意点: 参考図書や他の文献も参考に、それぞれが関わる教授法や研究との関連性から論じること。
レポート課題 2	Chapter 4 から Conclusion までを読み、各国の文化的特徴が反映された新しい英語の変種をどう捉えるか、文化を指導するなかでどのように EIL を取り扱うのか、日本の教育現場にも照らし合わせて考察し、3,000 字程度で論じる。英文レポート (2,000 words 程度) の提出も可。 留意点: 参考図書や他の文献も参考に、それぞれが関わる教授法や研究との関連性から論じること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	Aya Matsuda (Ed.) 著者名 : <i>Preparing Teachers to Teach English as an International Language</i> 教材名 : Multilingual Matters (2017) ISBN: 978-1-78309-701-2 (4,915 円)
	本書は Part 1 の理論編と Part 2～6 の実践編から成り立ち、国際色豊かな 22 名の研究者が国際共通語としての英語の理念と、それを実際の教育現場でどう実践するかということを綴ったテキストである。日本の教育現場の報告もいくつか含まれており、EIL の具体的な活用例の記述がある。各章末には細やかな参考文献も含まれており、今後の研究の参考資料として活用されたい。
参考図書	① Lubna Alsagoff, Sandra L. McKay, Guangwei Hu, W. Renandya (Ed.) <i>Principles and Practices of Teaching English as an International Language</i> Routledge (2012) ISBN:978-0-415-89167-7 ② 英語授業デザイン—学習空間づくりの教授法と実践 (英語教育学大系第 11 巻) (大修館書店、2010 年) ISBN: 978-4-469-14241-7 ③ Aya Matsuda (Ed.) <i>Principles and Practices of Teaching English as an International Language</i> Multilingual Matters (2012) ISBN: 978-1-84769-702-8
履修上のポイント	テキストにある EIL についての知見に基づき日本の教育現場の指導案を具体的に構築できるようにする。内容等について必要な場合には担当教員と相談すること。
レポート課題 1	Part 1～2 の理論編のいずれかを読む。また Part 5 までの実践編で興味ある章を選び、3,000 字程度で考察し論じる。英文レポート (2,000 words 程度) の提出も可。 留意点: テキスト、及び参考図書や文献からの引用を含めること。
レポート課題 2	「国際共通語としての英語」を日本人学習者に喚起させるための指導例を考案して、その詳細なレッスンプランを Part 6 の実践案を参考にして提出する。レッスンプランを構築した理論的根拠も 1,000～2,000 字程度で合わせて論じる。英文レポートの提出も可。 留意点: 対象とする日本人学習者、レベル等は各自で設定して構わない。

科目名	調査分析特講	担当者	タナカ 田中 ケンイチロウ 堅 一 郎	期間	通年	単位数	4
-----	--------	-----	---------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	本講義の目的は、①調査の種類、その中でも質問紙法（アンケート調査）と面接調査（ヒアリング調査）について学習し、実際に調査票を作成し、面接計画を作ることを目的とする。②調査分析に必要な統計手法について学習し、実際に分析できることを目的とする。 I. 仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的な考察を通じて、具体的克論理的な見解を示すことができ、その限界を認識することができる。【A-3:4】 II. データを分析し、分析結果の意味を理解し、問題を解決することができる。【A-4:3】 III. 経験や学修から得られた知識や教養に基づき、倫理的な課題を理解し説明できる。【A-1:1】		
到達目標	【一般目標（GIO）】 データを注意深く読み取り、適切な分析を行うことができ、分析結果を客観的に解釈することができる。 【行動目標（SB0s）】 - データを収集するための調査票を作成することができる（もしくは調査的面接を計画することができる）。 - データ分析に必要な統計学的知識を理解することができる。 - データ分析に必要なコンピュータ・リテラシーを身につけられる。 - 収集されたデータを、統計学的知識と統計パッケージのリテラシーを駆使して分析し、分析した結果を解釈することができる。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 - レポートの推敲過程において、Manaba-Folio の全受講者用の掲示板機能（「スレッド」）に、想定される質問とその回答を纏めた「Q & A」を公開する。さらに「スレッド」に届いた受講者からの質疑に対して応答し、その過程を受講生全員に公開する。 - オープンエデュケーション教材（OER）を基本教材の補助として視聴する。 【学修方略（LS）】 指定された基本教材、および参考文献を読みこなし、レポートを作成する。それでも理解できない場合は、Manaba-Folio を通して適宜科目担当者に質疑をする。 【学修時間】 1つのレポート課題の完成までに最低 45 時間の学習時間を要するものとする。 - 基本教材および参考文献の読み込み：20 時間 - レポート課題の執筆：10 時間 - Manaba-Folio へのレポート課題提出後の推敲と最終稿の完成（担当教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む）：15 時間		
スケジュール	前期：基本教材 1 のレポート課題 1：6 月末を目処に初稿を提出できるように学習を進める。9 月中旬までに最終稿を提出する。 基本教材 1 のレポート課題 2：8 月中旬を目処に初稿を提出できるように学習を進める。9 月中旬までに最終稿を提出する。 後期：基本教材 2 のレポート課題 1：11 月中旬を目処に初稿を提出できるように学習を進める。2020 年 1 月中旬までに最終稿を提出する。 基本教材 2 のレポート課題 2：12 月中旬を目処に初稿を提出できるように学習を進める。2020 年 1 月中旬までに最終稿を提出する。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	79%	- 最終提出期限内に提出されなかったレポート課題は、(原則的に) 0 点となります。 - レポート課題の作成において、自分の興味・関心だけをエッセイのように文章を連ねていくのはご遠慮願います（こうしたレポートは評価の対象としません）。教材の引き写しは評価の対象外とします。
	平常評価	21%	- 最終提出までに Manaba-Folio 上でレポートの草稿の送信・返信を行ったかどうかで評価します。 - 草稿を一度も出さずにいきなり最終稿を出された場合、そのレポート課題の評価点は 79 点以下しか得られません。
履修者への要望	- レポート作成にあたって文献を引用した場合は、それらすべてをレポートの巻末に示してください。その際、本文に引用した文献（引用文献）と、本文には引用しなかったがレポート作成に際して参考にした文献（参考文献）とは仕分けて示してください。 - 要覧にもあるように、後期課題のレポートでは、意味ある情報を的確に、かつ少数の値に集約して表現し、それらの値を効率よく記述しわかりやすく示すこと。表や図をレポートに提示する場合は、必ず通し番号とその表題をつけること。		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 鈴木淳子 教材名： 『質問紙デザインの技法（第2版）』（ナカニシヤ出版，2016年） (1) ISBN:978-4-7795-1075-5 2,800円+税 著者名： 鈴木淳子 教材名： 『調査的面接の技法（第2版）』（ナカニシヤ出版，2005年） (2) ISBN:978-4-88-848960-7 2,500円+税 (1)は，主として心理学で用いられる調査法の概要とその手法について解説したもの。 (2)は，研究方法としての面接・インタビューの概要とその手順について詳細に解説したもの。
参考図書	大竹恵子（編著）『なるほど！ 心理学調査法』（北大路書房，2017年） ISBN:978-4-7628-2990-1 2,200円+税 鎌原雅彦他（編著）『心理学マニュアル 質問紙法』（北大路書房，1998年） ISBN:978-4-76-282109-7 1,500円+税 保坂亨他（編著）『心理学マニュアル 面接法』（北大路書房，2000年） ISBN:978-4-76-282170-7 1,500円+税
履修上のポイント	レポート課題における「①質問紙（アンケート調査）を行う手順」と「②質問紙法の実施方法の違いによる区分と，それらの長所と短所」は，教材の『質問紙デザインの技法』を参考にし，「③面接調査（ヒアリング調査）を行う手順」と「④面接調査（ヒアリング調査）の形式による区分と，それらの長所と短所」は，教材の『調査的面接の技法（第2版）』を参考にする。
レポート課題1	以下に示す項目について，教材と参考図書などを参照しながら説明せよ。 ①質問紙法（アンケート調査）を計画し実施するまでの手順 ②質問紙法（アンケート調査）の実施方法の違いによる区分と，それらの長所と短所 ③面接調査（ヒアリング調査）を実施するまでの手順 ④面接調査（ヒアリング調査）の形式による区分と，それらの長所と短所 留意点：各項目あたり2,000字以内を目安に説明すること。
レポート課題2	以下の2項目のうち，一つを選ぶこと： ①任意のテーマ（できたら自分の研究課題に近いもの）について，調査内容をまとめ，実際に質問紙（アンケート）を作成する。 ②任意のテーマ（できたら自分の研究課題に近いもの）について，調査内容をまとめ，ヒアリング調査計画書と調査に必要な書類を作成する。 留意点：教材と参考書をよく読んで作成すること。調査票の作成にあたっては，調査後に分析がしやすいように配慮すること。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 南風原朝和（著） 教材名： 『心理統計学の基礎』（有斐閣アルマ，2002年）ISBN:4-641-12160-5 2,200円+税 この教材は，統計的手法について詳細に解説したものである。
参考図書	村井潤一郎・柏木恵子『ウォームアップ心理統計』（東京大学出版会，2008年） ISBN:978-4-13-012046-3 2,000円+税 松尾太加志・中村知靖『誰も教えてくれなかった因子分析 数式が絶対に出てこない因子分析入門』（北大路書房，2002年）ISBN:978-4-76-282251-3 2,500円+税 繁樹算男・森 敏昭・柳井晴夫『Q & A で知る統計データ解析 Dos and DON'Ts』（サイエンス社，2008年）ISBN:978-4-78-191186-1 2,450円+税
履修上のポイント	教材を読んでも統計学の基本がわからない場合は，参考図書の『ウォームアップ心理統計』（東京大学出版会）を参照すること。
レポート課題1	以下に示す用語について，教材と参考図書などを参照しながら説明せよ。 ①偏相関 ②決定係数 ③標準偏回帰係数 ④因子負荷量 ⑤多重共線性 留意点：各用語あたり800字以内を目安に，3,000～4,800字の範囲で説明すること。説明には数式を用いてよい。ただし，その際に用いた記号について脚注をいれること。
レポート課題2	与えられたデータをもとに，統計解析ソフト（Excel 統計2012，㈱社会情報サービス）を用いて以下に指定された分析を行い，その結果を要約すること。 ①すべての変数について度数分布，代表値，散布度を示す。 ②任意に2変数を選び相関図を描き，その相関図について相関係数を算出する。 ③3つ以上の変数を選び，重回帰分析法を実施する。 ④5つ以上の変数を選び，因子分析法を実施する。 留意点：分析用のデータは「調査分析特講」受講者が確定した後に大学院専用サイト（manaba folio）に添付する。統計解析ソフトの出力結果をそのままレポートにペースト・コピーして提出しないこと（ただし，掲載する図表をExcelで作成するのはかまわない）。

科目名	統計基礎Ⅰ	担当者	アラセキ ヒトシ 荒 関 仁 志	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	---------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	最近の統計ソフトは、大変に使い勝手が良く、ややもすると統計の基礎や計算の前提条件を理解しなくても、統計計算を形の上では、結果を得ることができますが、多くの場合、前提条件や利用条件を知らないことで、統計結果の解釈に間違いが散見されます。 本講座では、従来のような数式を中心とする説明ではなく、我々の身近にあるような具体的な例を取り上げ、数式を解さず、統計の基本概念を理解します。【A-1:4】 & 【A-2:4】 また、直接表計算ソフトを使うことで、数学が苦手な人でも統計処理の「基本的な考え方を理解する」ことを修得の目的とします。【A-3:4】	
到達目標	【一般目標 (GIO)】 統計が身近な疑問や現象に答えてくれる、比較的身近な数学であることを理解してください。統計処理は、決して理解が難しい数学ではなく、非常に単純な数学的思考に立脚した数値処理であることを理解してください。 【行動目標 (SBOs)】 ① 本講座では、統計処理ではよく使われている「平均・分散」や「有意さを表す検定」について理解することを自習にて行なうことを目指します。 ② 特に「検定」に関しては、その背景にある単純な仮定を理解することで、検定の「考え方」や「適用範囲」を理解します。この①と②によって統計の知識を様々なデータに応用可能となります。 ③ ここでは、それらの統計処理を使って身近なデータを処理し、それによって具体的な統計処理技術の習得を、レポート作成を利用して習得します。 【準備学修項目と準備学修時間】 指定教科書を熟読し、不明な点や疑問点は、担当教員に質問することで各自が解決を計る。	
学修方法（方法）	【LS】と学修時間 【学修方略 (LS)】 ① 指定教科書および参考文献を自習にて熟読してください。【SBO①】【25 時間／1 冊】 ② 与えられた課題についてレポートを作詞して提出します。【SBO②&③】。 ③ レポート課題 1 の作成には約 25 時間、レポート課題 2 には約 20 時間を必要とします。 ※) なお、参考文献等を読む場合やレポートを作成するに当たり、疑問点や不明な点などがある場合には、長時間悩まず、必ず教員まで質問をしてください。質問内容に関しては、基本的なことや専門的なこと、直接関係がないと思われることでも、何でも構いませんので、遠慮なく質問してください。レポート提出システムや電子メールでの質問や議論を推奨します。特に、電子メールでのコミュニケーションは、本大学院での基本的で最も重要なコミュニケーション手段であることを認識し、常に活用することを心掛けてください。	
スケジュール	① レポートの受付は何時でも行っていますので、レポートの完成を待たずに、疑問点や質問などがある場合には、積極的に未完成レポートを提出することを推奨します。【5 月～】 ② レポートのやり取りや電子メールでの質問や議論が、本科目の大きな学習目的であることを理解してください。なお、教員とのやり取り無しに、レポート提出期限間際のリポート提出は、基本的に認めないので注意をしてください。【締め切り 1 ヶ月前には草稿レポートをなからず 1 本は提出をしてあること】 ③ 課題提出期限は 9 月 19 日ですので、ご注意ください。 ※) レポートの提出に関しては、各自のスケジュールに合わせて行うことを前提としますが、予め遅れることが分かっている場合には、その旨を必ず知らせてください。	
成績評価	種 別	評価基準
	レポート	「分散」や「検定、分散分析」について数学的背景を理解できたか。 「検定、分散分析」についての統計処理を行うことができるか。 「検定、分散分析」の適用範囲を理解できたか。 - 統計に関する疑問や不明な点をメール等で質問し解決できたか。
履修者への要望	特にありませんが、数学が苦手な、特に統計処理が嫌いな人が受講することをお勧めします。教科書や学習する項目は、基本的なことが主ですので、数学や統計処理が得意な人はご遠慮ください。	

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	向後千春，富永敦子，『First Book 統計学がわかる』（技術評論社，2007 年）， ISBN:978-4-77-413190-0，1,680 円+税 著者名：または、 教材名：涌井 貞美，『意味がわかる統計解析』（ベレ出版，2013 年）， ISBN：978-4-86064-345-4，2,000 円+税
	本書は，数式をなるべく使わずに統計処理の仕組みを説明する初心者でも気軽に読めて楽しく統計を学習できる教科書です。 本書では，ある「ハンバーガー屋さん」で起こる様々な疑問や問題を，統計処理を使って登場人物たちと一緒に解決していく教科書です。とても面白く，統計データ分析の基本を理解できます。統計が苦手と思っている人には最適な教科書です。
参考図書	涌井良幸，涌井貞美『Excel で学ぶ統計解析』（ナツメ社，2003 年） ISBN:978-4-81-633418-4 2,500 円+税 菅 民郎『Excel で学ぶ統計解析入門 第2版』（オーム社，2003 年） ISBN:978-4-81-633418-4 2,800 円+税 小島 寛之，『完全独習 統計学入門』（ダイヤモンド社，2006 年）， ISBN：978-4-478-82009-4，1,800 円+税
履修上のポイント	本講義は，とにかく数学が苦手で，統計学が苦手な人のための講義です。多くの教科書に見られるような数式で説明することを極力避け，実際のデータを，表計算ソフトを使うことで数式での説明を介さずに，統計データ処理を解説しています。ですから，理屈で統計処理を理解するのはなく，体で統計データ処理を理解することを目的としています。 先ずは，手を動かして統計データ処理を行ってください。
レポート課題 1	t 検定と分散分析とは，何を説明するための統計処理なのかを，自分の言葉で説明してください 特に，標本の正規性や等分散性を意識してレポートを作成してください。
レポート課題 2	身の回りのデータを 1 組用意し，t 検定を行い，統計処理の結果を考察してください。また，別な身の回りのデータを 1 組用意し，分散分析を行い，その統計処理の結果を考察してください。

科目名	統計基礎Ⅱ	担当者	アラセキ ヒトシ 荒 関 仁 志	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	---------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	最近のコンピュータの高性能化に伴い、高性能な統計ソフトを自由に利用できるようになってきました。その結果、今までは利用するのが難しかった、多変量解析などが簡単に誰でもが利用できるようになりました。しかし、統計処理が簡単に利用できる反面、その基本にある「数理的背景」をまったく理解しないまま、データ処理を行っているが学生が多く見られるようになってきました。本講座では、実際の修士論文や研究に利用されることが多い『多変量解析』における「回帰分析」、「相関係数」や「因子分析」などの数学的背景と前提条件、利用条件などを理解します。【A-1:4】&【A-2:4】 また、身近な具体例を使い、なるべく数式を介さずに表計算ソフトを利用することで、その基本的考え方を理解することを目指します。【A-3:4】	
到達目標	【一般目標（GIO）】 本講座では、実際に様々な統計処理で使われることが多い「多変量」の統計処理について学習します。特に、「相関」、「重回帰分析」や「因子分析」についての考え方や処理方法の取得することを目指します。 【行動目標（SB0s）】 ① 多くの学生が統計を嫌いになるきっかけとなっているのが、この「多変量統計解析」ですが、その理論的背景を習得することを目指します。 ② 多変量解析が単純な数学的仮定（線形関係）の上に成り立っていることを習得する。 ③ その上でこれら線形関係を解くための数学が「線形代数」に起因することを認め、その線形代数の手法が「最小2乗法」や「(座標)回転」や「固有値」と関係することを習得することで、多変量解析では何を計算するのかを理解することで、その適用範囲を各自が習得できることを目指します。 【準備学修項目と準備学修時間】 指定教科書を熟読し、不明な点や疑問点は、担当教員に質問することで各自が解決を計る。	
学修方法（方法）	【学修方略（LS）】 ① 指定教科書および参考文献を自習にて熟読します。【SB0①】【25 時間／1 冊】 ② 与えられた課題についてレポート作成し提出します。【SB0②&③】。 ③ レポート課題1の作成には、約25時間、レポート課題2の作成には20時間を必要とします。 ※）なお、参考文献等を読む場合やレポートを作成するに当たり、疑問点や不明な点などがある場合には、長時間悩まず、必ず教員まで質問をしてください。質問内容に関しては、基本的なことや専門的なこと、直接関係がないと思われることでも、何でも構いませんので、遠慮なく質問してください。レポート提出システムや電子メールでの質問や議論を推奨します。特に、電子メールでのコミュニケーションは、本大学院での基本的で最も重要なコミュニケーション手段であることを認識し、常に活用することを心掛けてください。	
スケジュール	① リポートの受付は何時でも行っていますので、リポートの完成を待たずに、疑問点や質問などがある場合には、積極的に未完成リポートを提出することを推奨します。【9月～】 ② リポートのやり取りや電子メールでの質問や議論が、本科目の大きな学習目的であることを理解してください。なお、教員とのやり取り無しに、レポート提出期限間際のリポート提出は、基本的に認めないので注意をしてください。【締め切り1ヶ月前には草稿レポートをなからず1本は提出をしてあること】 ③ リポート締め切りは、1月14日ですのでご注意ください。 ※）リポートの提出に関しては、各自のスケジュールに合わせて行うことを前提としますが、予め遅れることが分かっている場合には、その旨を必ず知らせてください。	
成績評価	種 別	評価基準
	リポート	「多変量解析」の数学的仮定を理解できたか。 「相関」や「重回帰分析」、「因子分析」とは何かを理解できたか。 - エクセルを使って、「多変量解析」処理を行うことができたか。 「多変量解析」に関する疑問や不明な点が解決できたか。 「多返照解析」に関する統計処理技術を議論できたか。 - 疑問や不明な点などの解決に、メール等を利用し、解決できたか。
履修者への要望	数学が苦手、統計処理が嫌いな人が受講してください。ただし、そのような数学を毛嫌いしている人は、必ず「統計基礎Ⅰ」も併せて受講してください。	

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	向後千春, 富永敦子, 『First Book「統計学がわかる」—回帰分析・因子分析編—』(技術評論社, 2009年), 著者名: ISBN:978-4-77-413707-0, 1,680 円+税 教材名: または, 石井 俊全, 『意味がわかる多変量解析』(ベレ出版, 2014), ISBN: 978-4-86064-398-0, 1,900 円+税 理数系以外の学生で, 統計を知っている人でも「回帰分析」や「因子分析」など, データ間の「関係を調べる」ための統計データ処理の仕組みを理解している人は多くありません。本書では, 極力数式を使わず, このデータの「関係を調べる」ための統計データ処理の基本的な仕組み解説します。アイスクリームショップを舞台にアルバイトのアイちゃんと一緒に悩みながら, 気温とアイスクリームの売り上げの関係など, あなたの研究・調査に応用の利用可能な話題を取り上げます。親しみやすい話題と物語の展開で, 比較的理解することが難しいといわれている「多変量データ解析」を理解することができます。
参考図書	上田太一郎, 小林真紀, 渕上美喜『Excel で学ぶ回帰分析入門』(オーム社, 2004年) ISBN:978-4-27-406556-9 2,800 円+税 菅 民郎『Excel で学ぶ多変量解析入門 第2版』(オーム社, 2007年) ISBN:978-4-27-406708-2 2,800 円+税 加藤剛『知識ゼロでもわかる統計学シリーズ 本当に使えるようになる多変量解析超入門』(技術評論社, 2013年) ISBN 978-4-7741-5630-9 1,980 円+税
履修上のポイント	本講義では, 多変量解析の基本的な仕組みや数理的背景を理解することを目的とします。ここでは数式による説明ではなく, 表計算ソフトを使って, 直接データを統計処理します。ですから, 数学が苦手な人でも「相関」や「回帰分析」, 「因子分析」の基本的な仕組みを理解することができますので安心して受講してください。
レポート課題1	「相関」と「回帰分析」, 「因子分析」は何を知るための統計データ処理なのかを, 自分の言葉で説明してください。特に, 説明変数や因子間の線形性について注意しながらレポートを作成してください。
レポート課題2	身の回りのデータを用意し, 「相関」と「回帰分析」, 「因子分析」を計算し, それぞれの結果を考察してください。

科目名	ゲーム理論	担当者	アラセキ ヒトシ 荒 関 仁 志	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	---------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	ゲーム理論は、経済学から発展してきたが、現在では経営学、政治学、法学、経済学、社会学、心理学、生物学、工学、コンピュータ化学など様々な分野に応用されている。 社会における個人の行動を決定する場合、他人との相互作用を考慮した意思決定をすることが重要になってくるが、この相互作用を考慮した意思決定を数学的なモデルとして研究されているのがゲーム理論である。 本講座では、このゲーム理論における基礎的な考え方を習得することを目的とする。【A-1:4】&【A-2:4】 具体的には、ゲーム理論の基礎である「囚人のジレンマ問題」を理解し、それを元により現実的な意思決定である「交渉ゲーム問題」を理解することを最終目標とする。【A-3:4】	
到達目標	【一般目標 (GIO)】 「囚人のジレンマ問題」を理解し、ゲーム理論に特有な「利得」や「ナッシュ均衡」の考え方を数学的に理解する。さらに、より一般的な意思決定と考えられている「交渉ゲーム」を学習し、そこで使われている「混合戦略」や「期待利得」の計算方法を理解することを修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ① 身の回りの様々な意思決定過程をゲーム理論的志向で考察し、意思決定の知識を利用し問題解決や技術を理解することを修得する。 ② それによって合理的意思決定とは何かを習得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 指定教科書を熟読し、不明な点や疑問点は、担当教員に質問することで各自が解決を計る。	
学修方法（方法） 【LS】と学修時間	【学修方略 (LS)】 ① 教科書の「非協力ゲーム（または囚人のジレンマ問題）」を自習にて熟読し修得する。【SB0①】 【約 25 時間】 ② 次に「交渉ゲーム」を自習にて修得すること【SB0①】【25 時間程度】。 ③ その上で、レポート作成では設問に回答してください。その際、教科書の数学的な取扱いで分からない部分などがあれば、担当者に質問し、個人指導を受けることを基本とします。【SB0②】【レポート課題 1 は約 20 時間、レポート課題 2 は約 25 時間】 ④ なお、交渉ゲームを理解するためには、繰り返しゲームなどの理解が必要になりますので、「囚人のジレンマ問題」や「交渉ゲーム」以外の章の知識が多少必要となりますので、他の章もご一読されることをお勧めします。【SB0②】【約 15 時間】	
スケジュール	① レポートの受付は何時でも行っていますので、レポートの完成を待たずに、疑問点や質問などがある場合には、積極的に未完成レポートを提出することを推奨します。【5 月～】 ※) レポートのやり取りや電子メールでの質問や議論が、本科目の大きな学習目的であることを理解してください。 ② 教員とのやり取り無しに、レポート提出期限間際でのレポート提出は、基本的に認めないので注意をしてください。【締め切り 1 ヶ月前には草稿レポートをなからず 1 本は提出をしてあること】 なお、レポートの締め切りは 9 月 19 日となりますので、ご注意ください。 ※) レポートの提出に関しては、各自のスケジュールに合わせて行うことを前提としますが、予め遅れることが分かっている場合には、その旨を必ず知らせてください。	
成績評価	種 別	評価基準
	レポート	- ゲーム理論の基礎を理解できているか。 - 身近な問題に対してゲーム理論を応用できるか。 - ゲーム理論の数学的仕組みを理解できているか。 - 不明な項目に対して、メール等で適切に質問し理解できたか。
履修者への要望	特にありませんが、様々な「関係」について興味をもっている学生の受講を歓迎します。 ゲーム理論の理解には数学が必要となりますが、本講座では簡単な四則演算程度で十分です。また、数学に興味があるが、難しそうと思っている学生も大歓迎いたします。数学的取り扱い、別途担当者作成のレジメで解説します。	

【レポート課題】

基 本 教 材	
教材の概要	武藤/滋夫, 『ゲーム理論入門』(日経文庫—経済学入門シリーズ)(日本経済新聞社, 2001年), ISBN-10: 4532108292, 860 円+税 著者名 : 教材名 : または 岡田 章, 加茂 知幸, 三上 和彦, 宮川 敏治, 『ゲーム理論ワークブック』(有斐閣, 2015), ISBN 978-4-641-16463-5, 1,900 円+税 本テキストは, ゲーム理論の数学的説明が平易に正確に記述されており、国内のゲーム理論の書籍の中では、最も優れた書籍である。内容は「囚人のジレンマ」に始まり、「繰り返し囚人のジレンマ問題」や「交渉ゲーム」など多義にわたっている。
参考図書	Avinash K. Dixit (著), Barry J. Nalebuff (著) 『The Art of Strategy: A Game Theorist's Guide to Success in Business and Life』(W W Norton & Co Inc, 2010年) ISBN 978-0-393-33717-4, 1,770 円+税 (Amazon.co.jp にて 2016 年 11 月現在) 川越 敏司 (著), 『行動ゲーム理論入門』(エヌティティ出版, 2010年), ISBN : 978-4-7571-2258-1, 2,700 円+税 岡田 章 (著), 『ゲーム理論 新版』(有斐閣; 新, 2011年), ISBN 978-4-641-16382-9, 3,800 円+税
履修上のポイント	数学的取り扱いで疑問が生じた場合には、悩まず担当教員に質問をしてください。初めは、数学的取り扱いに慣れていない院生には難しそうに思える数学的表現も、その基本は非常に単純な構造であることが分かりますので、ご安心して受講してください。
レポート課題 1	囚人のジレンマ問題を身近な事例によって説明し、その時の「ナッシュ均衡」について、各自の説明してください。
レポート課題 2	身の回りの「ジレンマ問題」を取り上げ、「囚人のジレンマ問題」と「交渉ゲーム問題」で解析し、それぞれの特徴を説明してください。